

定住・子育てに関する意識調査
報告書

—平成27年8月20日時点—

I 調査の概要

1 調査の目的

「府中市人口ビジョン」および「府中まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、府中市の将来を展望するための基礎資料として、地方創生の鍵を握る「若い世代」の意識や意向、ニーズを把握することを目的に実施したものである。

2 調査の方法

- ①調査対象 府中市内に居住する 20 歳から 39 歳の男女
- ②対象者数 2,000 人
- ③抽出方法 住民基本台帳（平成 27 年 6 月 26 日現在）から無作為抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間 7 月 1 日から 7 月 14 日の 14 日間

3 集計・分析のための地区区分

第 1 地域	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台 1 丁目～3 丁目、若松町 3～5 丁目
第 2 地域	白糸台 4 丁目～6 丁目、押立町、小柳町、若松町 1 丁目～2 丁目、清水が丘、是政 1 丁目～5 丁目、日吉町
第 3 地域	浅間町、天神町、新町、幸町、晴見町、栄町
第 4 地域	府中町、緑町、宮町、八幡町、本町 1 丁目、本町 2 丁目、宮西町、寿町
第 5 地域	武蔵台 1～3 丁目、北山町 1～4 丁目、西原町 1～4 丁目、東芝町
第 6 地域	片町 1 丁目～3 丁目、日鋼町、美好町 2～3 丁目、分梅町 1 丁目、本宿町 1～4 丁目、西府町
第 7 地域	矢崎町、南町、本町 3～4 丁目、分梅町 2～5 丁目、住吉町、是政 6 丁目
第 8 地域	四谷、日新町

4 調査項目

- ①府中市に居住した「きっかけ」及び「理由」について
- ②住宅の住み替えについて
- ③子育てについて
- ④就労について
- ⑤地域とのつながりについて

5 回収結果

- ①標本数 2,000 票
- ②有効回収数 547 票
- ③有効回収率 27.4%

6 報告書の見方

①集計について

比率は、全て百分率 (%) で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

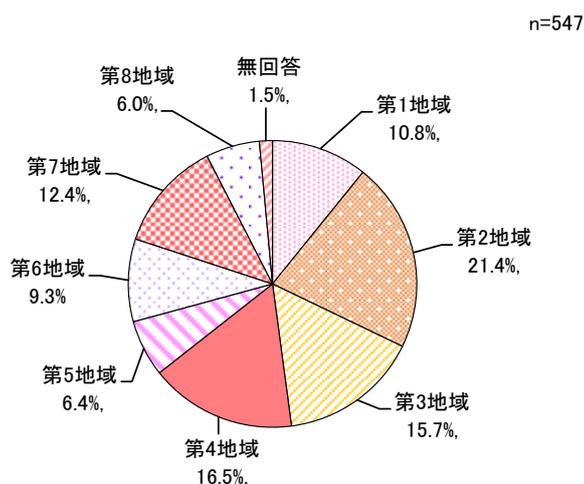
Ⅱ 調査結果

F ご自身のこと

F1 あなたのお住まいの地域を以下にお書きください。※「丁目」まで記入。

【全体の回答傾向】

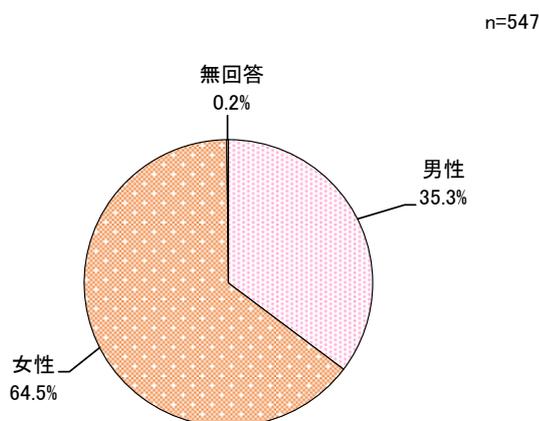
- ・居住地については、「第2地域」が21.4%と最も多く、次いで「第4地域」(16.5%)、「第3地域」15.7(%)、「第7地域」(12.4%)となっています。



F2 あなたの性別は。

【全体の回答傾向】

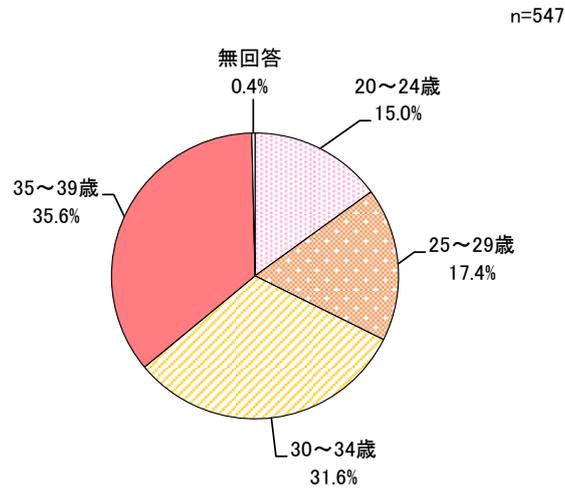
- ・性別については「女性」が64.5%、「男性」が35.3%となっています。



F3 あなたの年齢は。

【全体の回答傾向】

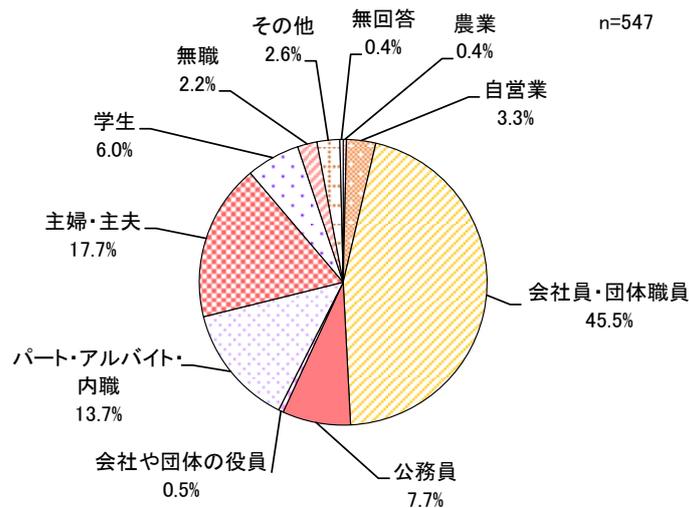
- ・年齢については、「35～39歳」が35.6%と最も多く、次いで「30～34歳」(31.6%)、「25～29歳」(17.4%)、「20～24歳」(15.0%)となっています。



F4 あなたの主な職業は。

【全体の回答傾向】

- ・職業については、「会社員・団体職員」が45.5%と最も多く、次いで「主婦・主夫」(17.7%)、「パート・アルバイト・内職」(13.7%)、「公務員」(7.7%)となっています。



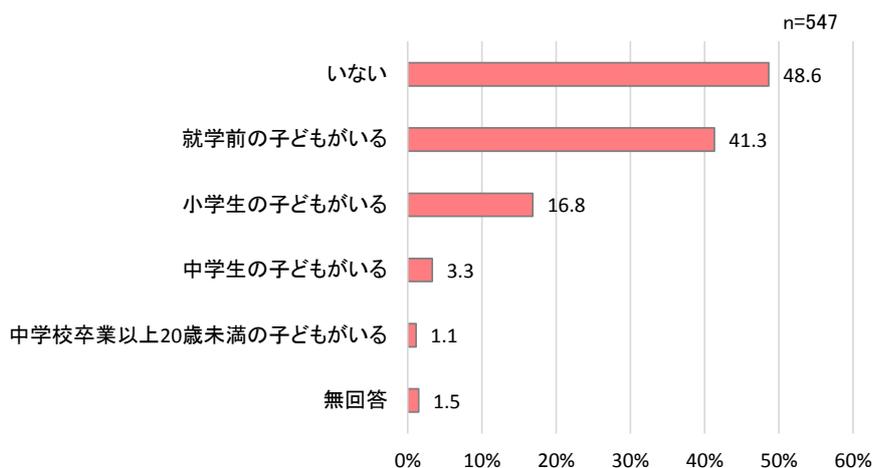
あなたの世帯のお子様についてお聞きします。

F5 あなたが同居しているお子様の状況についてあてはまるものをすべて選んでください。

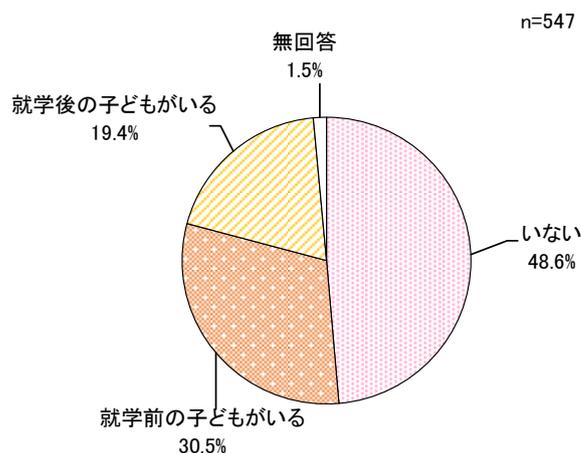
【全体の回答傾向】

- ・同居している子どもについては、「いない」が 48.6%と最も多く、次いで「就学前の子どもがいる」(41.3%)、「小学生の子どもがいる」(16.8%)、「中学生の子どもがいる」(3.3%)となっています。
- ・子育て状況として子どもが「いない」、「就学前の子どもがいる」、「就学後の子どもがいる」で分類すると、「いない」が 48.6%と最も多く、次いで「就学前の子どもがいる」(30.5%)、「就学後の子どもがいる」(19.4%)となっています。

<子どもの状況（5区分）>



<子育て状況（3区分）>

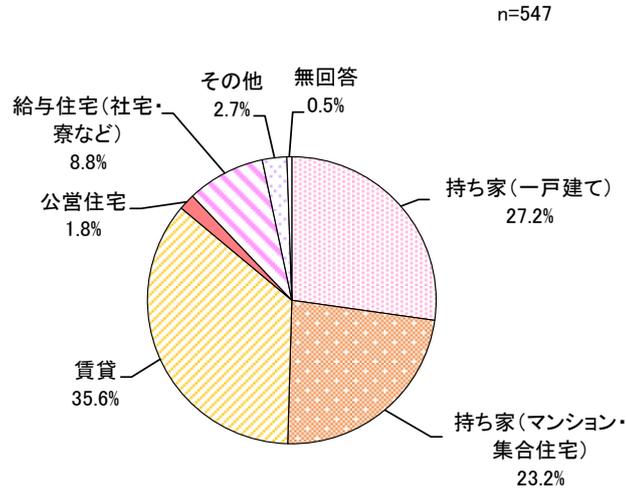


※「就学前の子どもがいる」とは、就学前の子どものみいる方を意味します。一方、「就学後の子どもがいる」とは、子どもの中に就学後の子どもがいる方を意味しており、兄弟で就学前の子どもと就学後の子どもがいる場合は、「就学後の子どもがいる」に含まれます。

F6 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。

【全体の回答傾向】

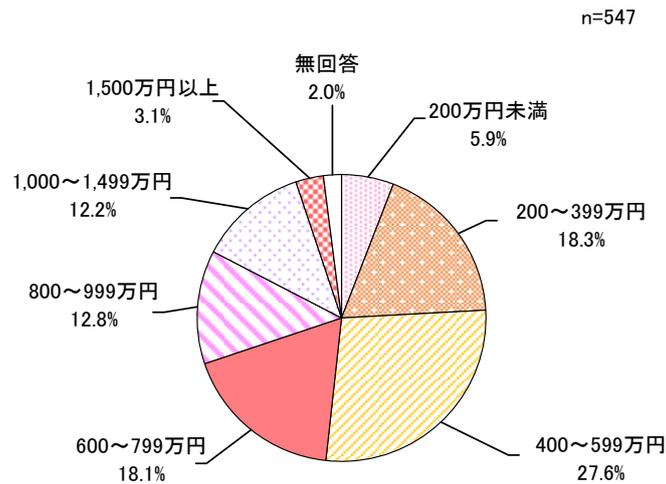
- ・現在の住まいについては、「賃貸」が 35.6%と最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」(27.2%)、「持ち家（マンション・集合住宅）」(23.2%) となっています。



F7 おおむねの世帯年収は、次のうちどれですか。 ※配偶者等家族を含む。

【全体の回答傾向】

- ・世帯収入については、「400～599 万円」が 27.6%と最も多く、次いで「200～399 万円」(18.3%)、「600～799 万円」(18.1%)、「800～999 万円」(12.8%) となっています。

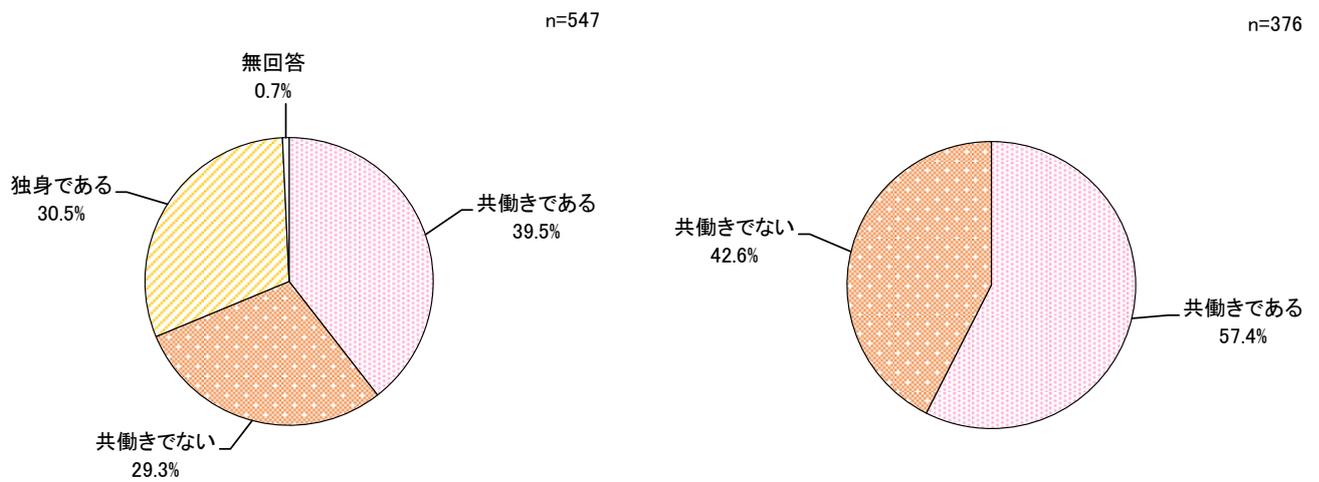


F8 あなたの世帯の就労状況について教えてください。

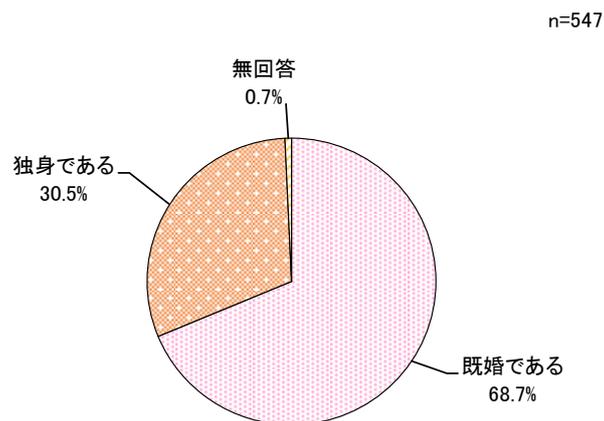
【全体の回答傾向】

- ・世帯の就労状況については、「共働きである」が39.5%と最も多く、次いで「独身である」(30.5%)、「共働きでない」(29.3%)となっています。
- ・既婚者のみで見ると、「共働きである」が57.4%、「共働きでない」が42.6%となっており、共働きしている人が過半数を超えています。
- ・既婚・未婚で分類すると、「既婚である」が68.7%と最も多く、次いで「独身である」(30.5%)となっています。

＜既婚者のみ＞



＜既婚、未婚別＞

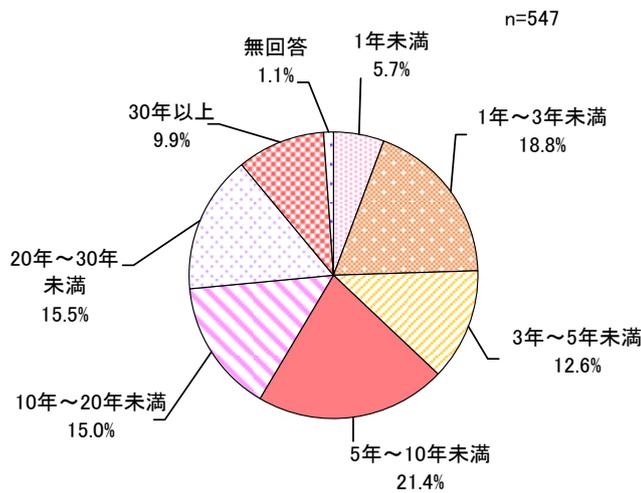


1 本市に移住した「きっかけ」と「理由」について

問1 本市に何年くらい住んでいますか。

【全体の回答傾向】

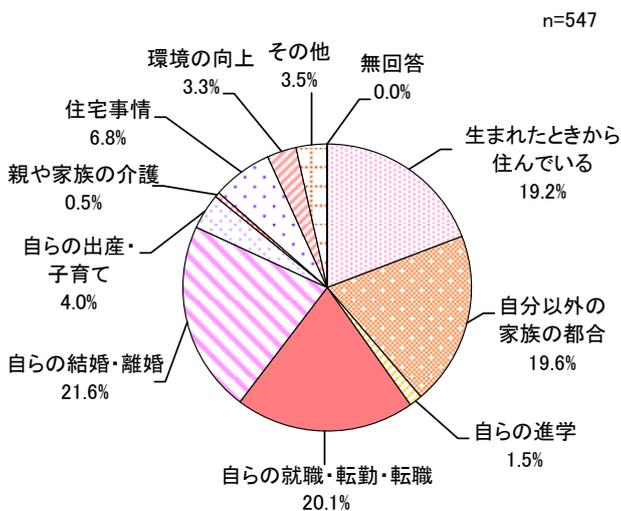
- ・府中市での居住年数については、「5年～10年未満」が21.4%と最も多く、次いで「1年～3年未満」(18.8%)、「20～30年未満」(15.5%)、「10年～20年未満」(15.0%)となっています。



問2 本市に住むことになった一番の「きっかけ」は何ですか。

【全体の回答傾向】

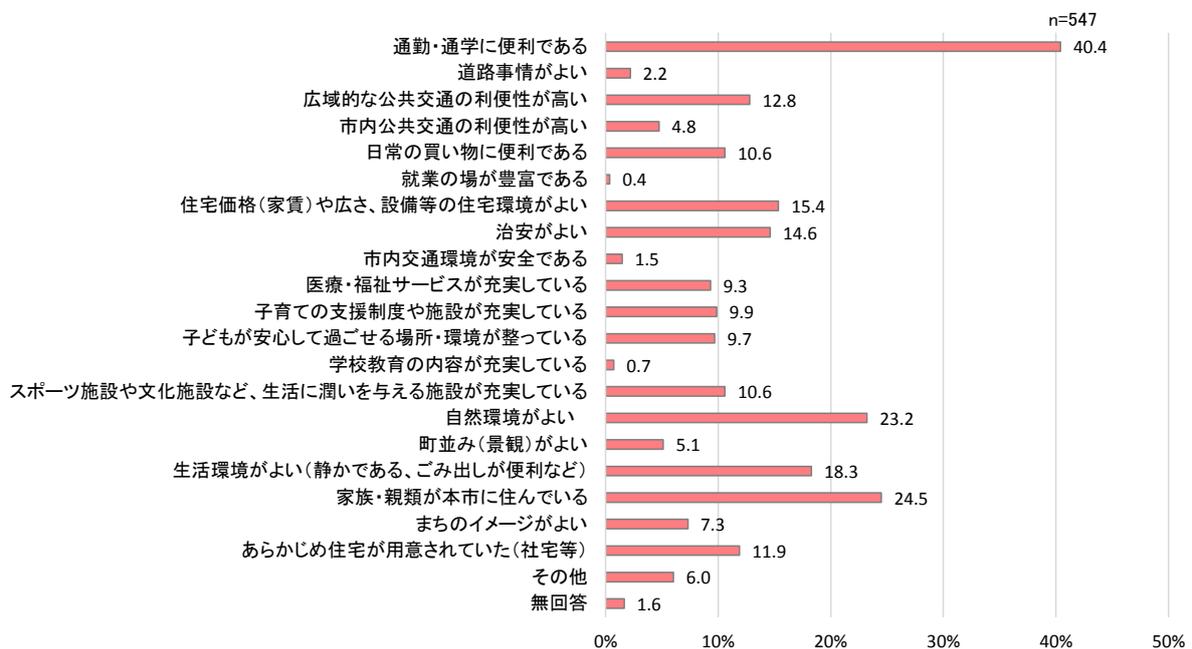
- ・府中市での居住のきっかけについては、「自らの結婚・離婚」が21.6%と最も多く、次いで「自らの就職・転勤・転職」(20.1%)、「自分以外の家族の都合」(19.6%)、「生まれたときから住んでいる」(19.2%)となっています。



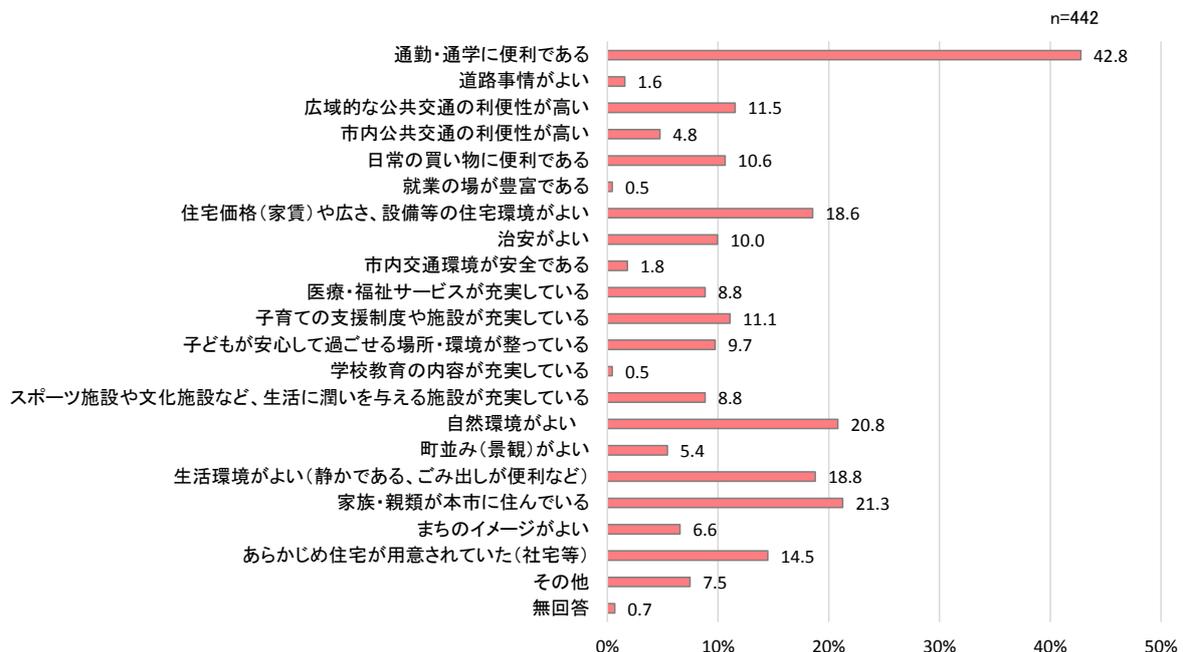
問3 引越しに際して、どのような「理由」で本市を選びましたか。(三つまで選択)
 ※問2で「生まれたときから住んでいる」を選んだ方は居住場所として府中市の良いところを選択。

【全体の回答傾向】

- ・府中を選んだ理由については、「通勤・通学に便利である」が40.4%と最も多く、次いで「家族・親族が本市に住んでいる」(21.3%)、「自然環境がよい」(20.8%)、「生活環境がよい(静かである・ごみ出しが便利など)」(18.3%)となっています。
- ・「生まれたときから住んでいる」人を除く場合でも、「通勤・通学に便利である」が42.8%と最も多く、次いで「家族・親族が本市に住んでいる」(24.5%)、「自然環境がよい」(23.2%)、「生活環境がよい(静かである・ごみ出しが便利など)」(18.8%)となっています。



<「生まれたときから住んでいる」人を除く場合(442人)>

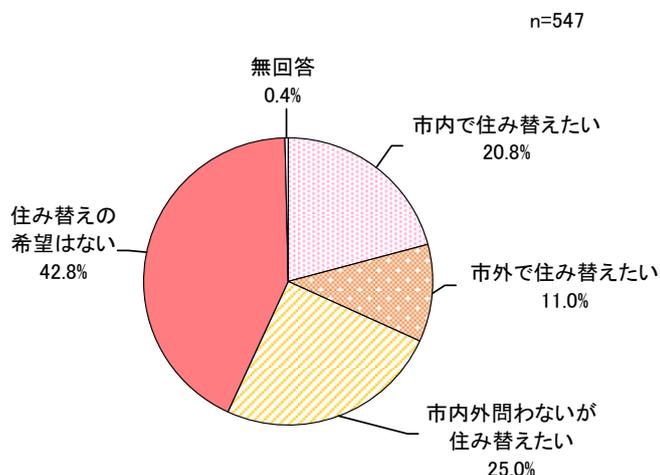


2 住宅の住み替えについて

問4 将来、住宅を住み替える希望はありますか。

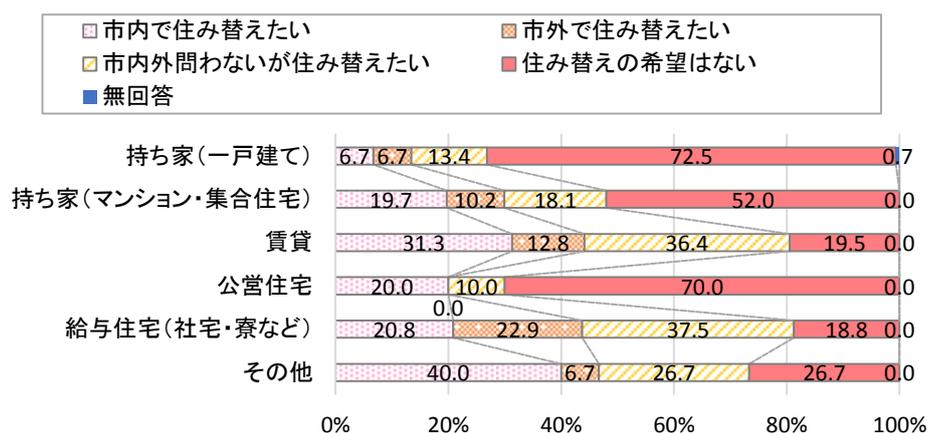
【全体の回答傾向】

- ・将来の住み替えについては、「住み替えの希望はない」が 42.8%と最も多く、次いで「市内外問わないが住み替えたい」(25.0%)、「市内で住み替えたい」(20.8%)となっています。



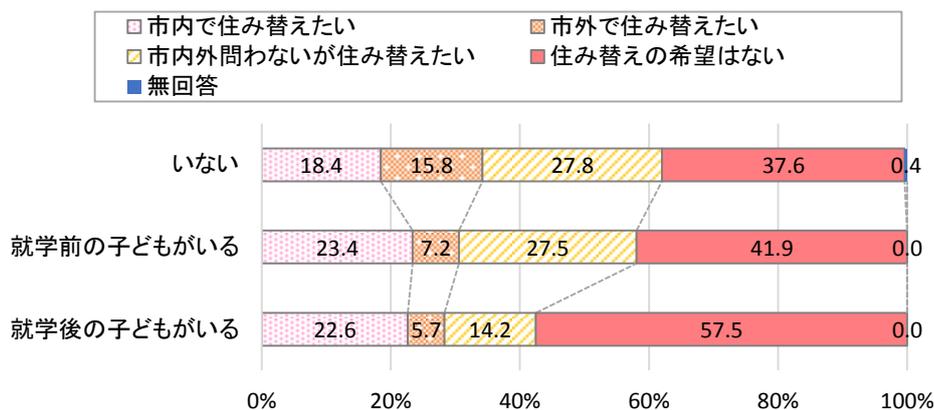
【現在のお住まいの形態別】

- ・回答の傾向を現在お住まいの形態別で比較すると、持ち家（一戸建て）と賃貸では、持ち家の方が「住み替えの希望はない」の回答が高い傾向となっています。ただし、公営住宅の人についても7割が「住み替えの希望はない」と回答しています。



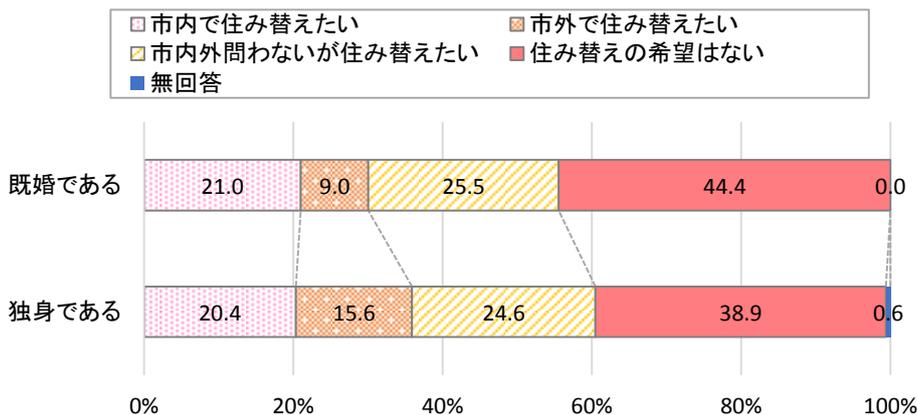
【子育て状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を子どもの有無で比較すると、子どもがいる人の方が、「住み替え希望はない」、「市内で住み替えたい」の回答が多い傾向となっています。一方、「市外で住み替えたい」「市内外問わないが住み替えたい」の回答は、子どもがいない人の方が、子どもがいる人よりも回答が多い傾向となっています。このことから、子どもがいる人の方が、定住意向が高いという傾向が見えます。
- ・回答の傾向を子どもの就学状況別で比較すると、就学後の子どもがいる人の方が、「住み替え希望はない」の回答が多い傾向となっています。また、就学後の子どもがいる人の方が、「市外で住み替えたい」「市内外問わないが住み替えたい」の回答が少ない傾向となっています。このことから、就学後の子どもがいる人の方が、定住意向が高いという傾向が見えます。



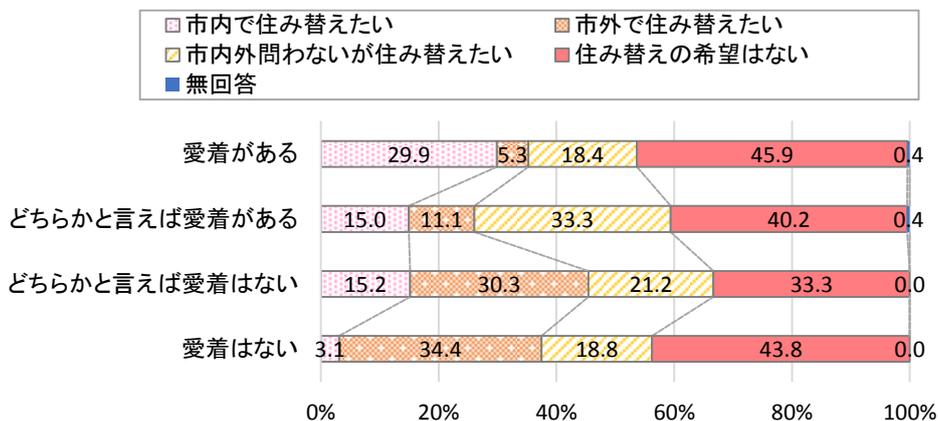
【結婚状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を結婚状況別で比較すると、既婚の人の方が、「住み替え希望はない」の回答が多い傾向となっています。一方、「市外で住み替えたい」の回答は、独身の人の方が、既婚の人よりも回答が多い傾向となっています。



【愛着別の回答傾向】

- ・回答の傾向を愛着別で比較すると、愛着がある人の方が、「市内で住み替えたい」の回答が多い傾向にあります。一方、「市外で住み替えたい」の回答は、愛着のない人の方が、愛着のある人よりも回答が多い傾向となっています。
- ・どちらかと言えば愛着がある人については、「市内外問わないが住み替えたい」の回答が最も多くなっているとともに、「市外で住み替えたい」と合わせると、4割以上が、他市への転出の可能性のある結果となっています。

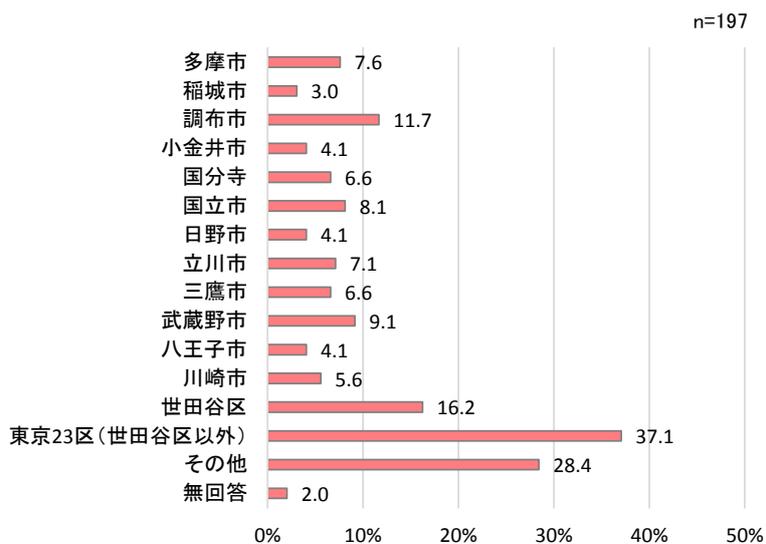


住み替えにあたり、市外も検討対象となっている方（197人）にお聞きします。

問 4-1 市外で住む場合、候補地として検討している地域はどちらですか。（二つまで選択）

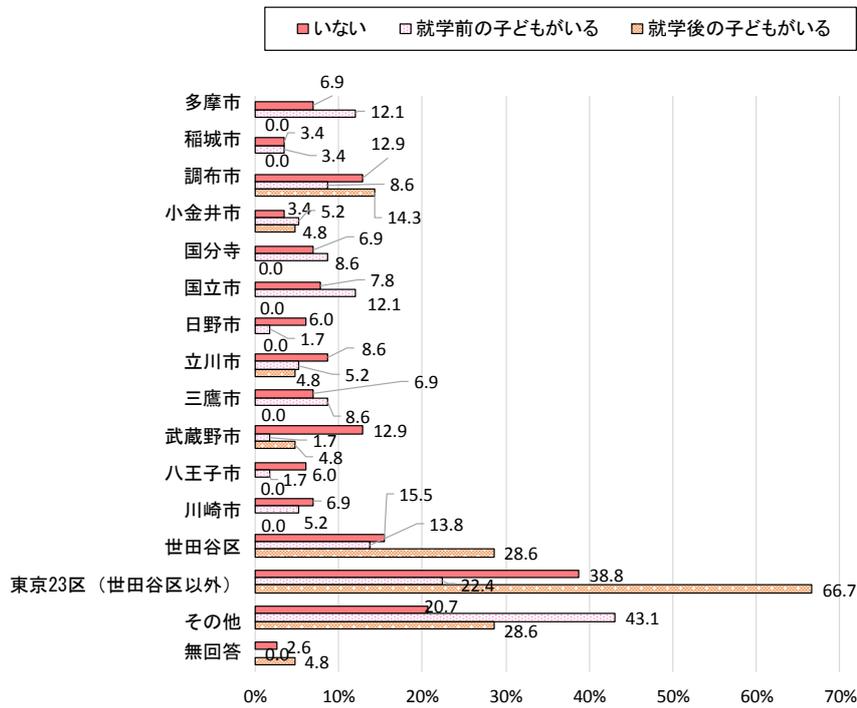
【全体の回答傾向】

- ・市外での住み替え候補地については、「東京 23 区（世田谷以外）」が 37.1%と最も多く、次いで「その他」（28.4%）、「世田谷区」（16.2%）、「調布市」（11.7%）となっています。



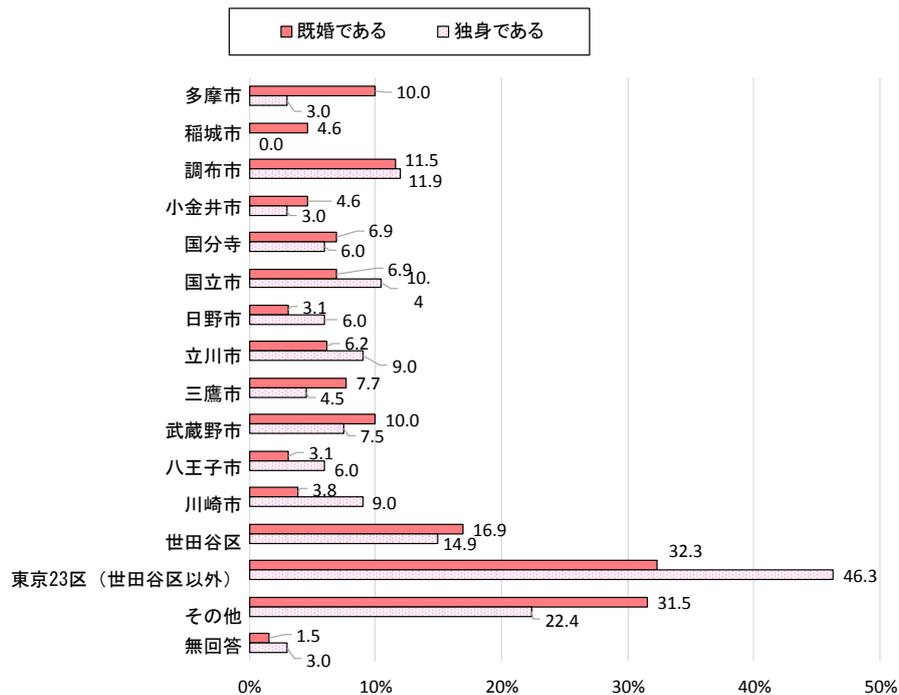
【子育て状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を子育て状況別に比較すると、子どもがいない人と就学前の子どもがいる人は、多摩地域や東京特別区を問わず様々な地域が転出候補地として挙がっていますが、就学後の子どもがいる人は、東京特別区に偏る傾向が見えます。



【結婚状況別の回答傾向】

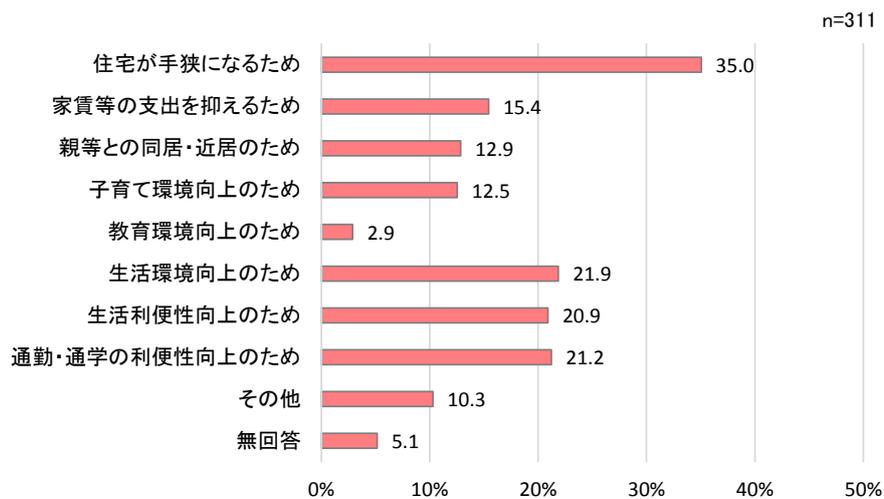
- ・回答の傾向を結婚状況別で比較すると、独身の人のほうが、既婚の人よりも東京 23 区への転出意向が高い傾向となっています。



住み替えを検討している方（311人）にお聞きします。
 問4-2 住み替えを希望する理由は何ですか。（二つまで選択）

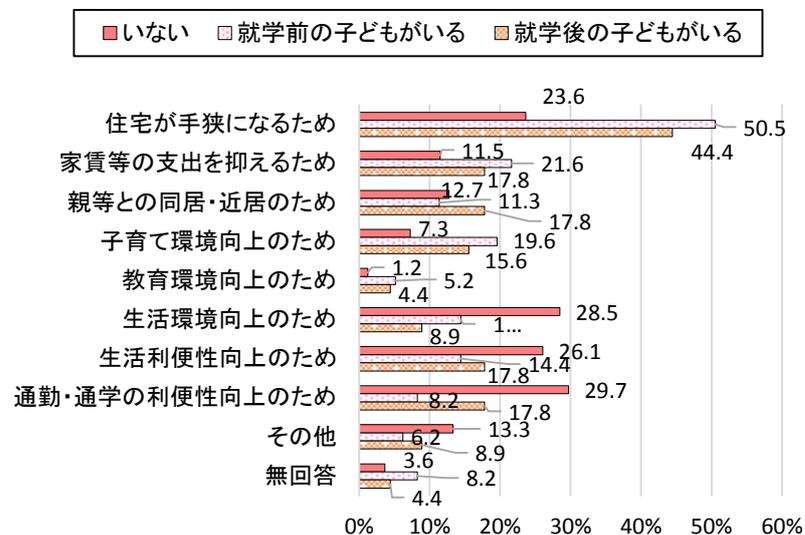
【全体の回答傾向】

- ・住み替えの希望については、「住宅が手狭になるため」が35.0%と最も多く、次いで「生活環境向上のため」(21.9%)、「通勤・通学の利便性向上のため」(21.2%)、「生活利便性向上のため」(20.9%)となっています。



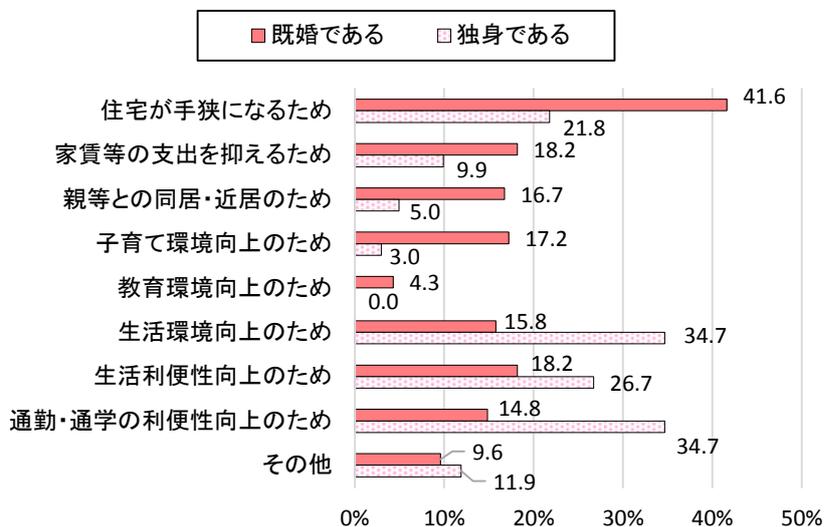
【子育て状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を子育て状況別に比較すると、子どもがいる人は、「住宅が手狭になるため」、「家賃等の支出を抑えるため」などの住宅事情の回答が多い傾向となっています。一方、子どもがいない人は、「通勤・通学の利便性向上のため」、「生活環境向上のため」、「生活利便性向上のため」などの利便性向上を目的とした回答が多い傾向となっています。



【結婚状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を結婚状況別で比較すると、既婚の人は、「住宅が手狭になるため」、「家賃等の支出を抑えるため」などの住宅事情の回答が多い傾向となっています。一方、独身の人は、「通勤・通学の利便性向上のため」、「生活環境向上のため」、「生活利便性向上のため」などの利便性向上を目的とした回答が多い傾向となっています。

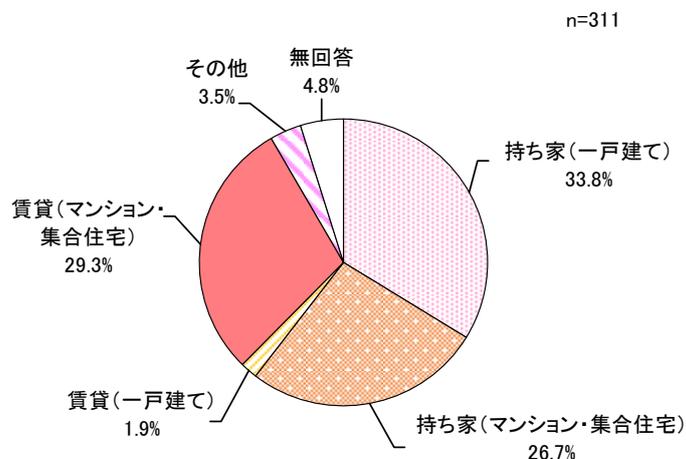


住み替えを検討している方（311人）にお聞きします。

問 4-3 住み替え後の住宅は、どのような形態を希望しますか。

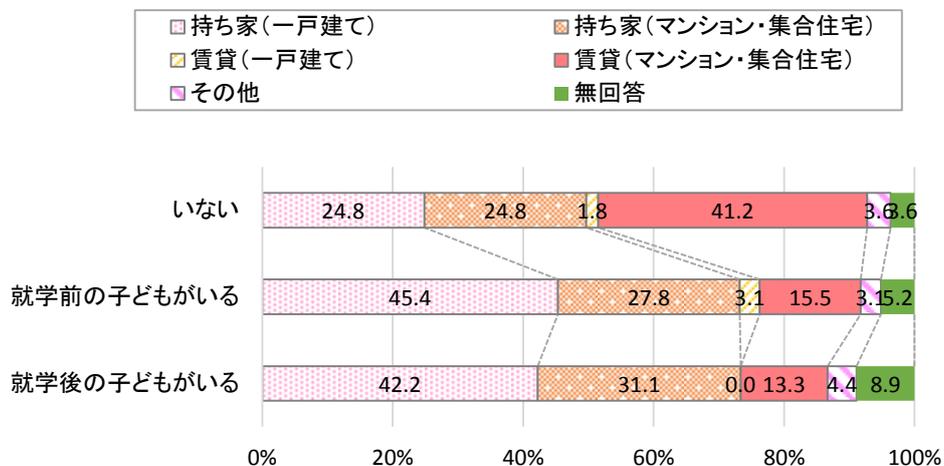
【全体の回答傾向】

- ・住み替え後の住宅形態については、「持ち家（一戸建て）」が 33.8%と最も多く、次いで「賃貸（マンション・集合住宅）」（29.3%）、「持ち家（マンション・集合住宅）」（26.7%）となっています。



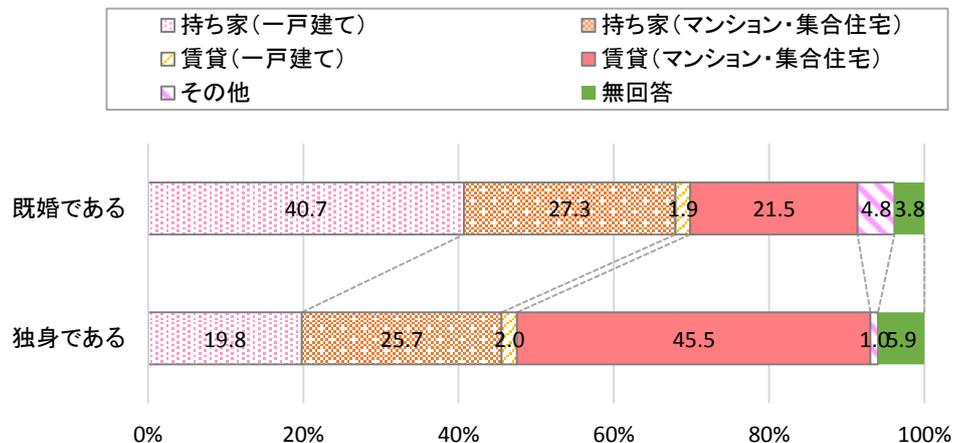
【子育て状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を子育て状況別で比較すると、子どもがいる人は、7割以上が持ち家希望となっています。一方、子どもがいない人では、持ち家希望が5割弱、賃貸希望が約4割となっており、意向が分かれています。



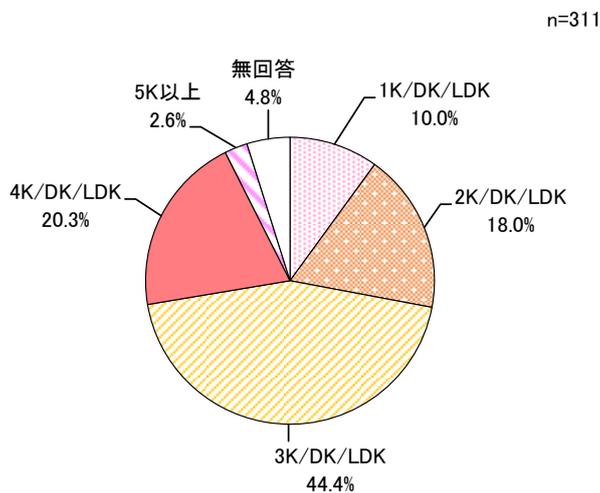
【結婚状況別の回答傾向】

- ・回答の傾向を結婚状況別で比較すると、既婚の人は、7割弱が持ち家希望となっています。一方、独身の人では、持ち家希望と賃貸希望が5割弱で同程度となっており、意向が分かれています。

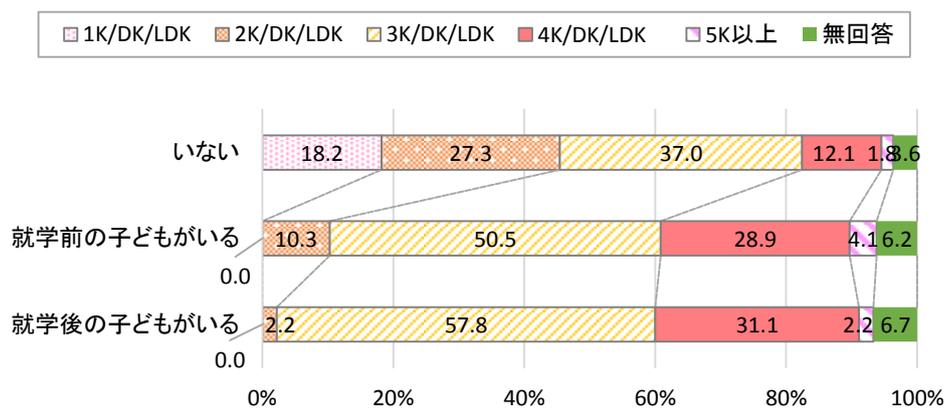


住み替えを検討している方（311人）にお聞きします。
 問 4-4 住み替え後の住宅は、どのような間取りを希望しますか。

【全体の回答傾向】
 ・住み替え後の間取りについては、「3K/DK/LDK」が44.4%と最も多く、次いで「4K/DK/LDK」(20.3%)、「2K/DK/LDK」(18.0%) となっています。

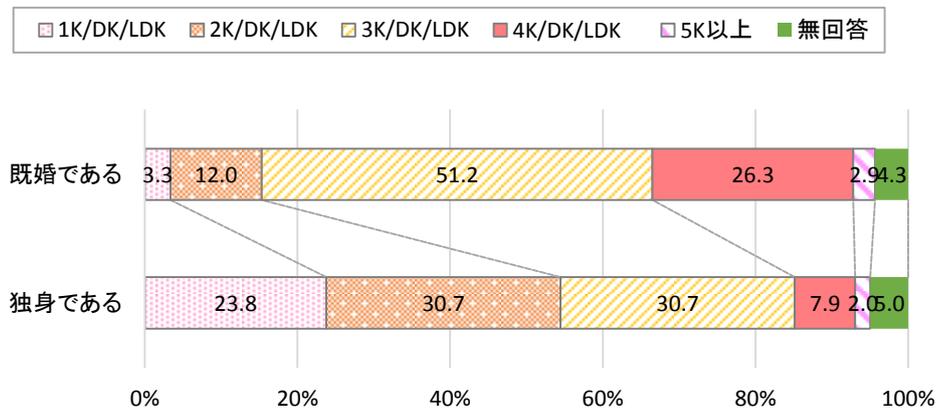


【子育て状況別の回答傾向】
 ・回答の傾向を子育て状況別に比較すると、子どもがいる人は、「3K/DK/LDK」が最も多く、次いで「4K/DK/LDK」となっており、この2つで約8割を占めています。一方、子どもがいない人では、「3K/DK/LDK」が最も多く、次いで「2K/DK/LDK」、「1K/DK/LDK」となっています。



【結婚状況別の回答傾向】

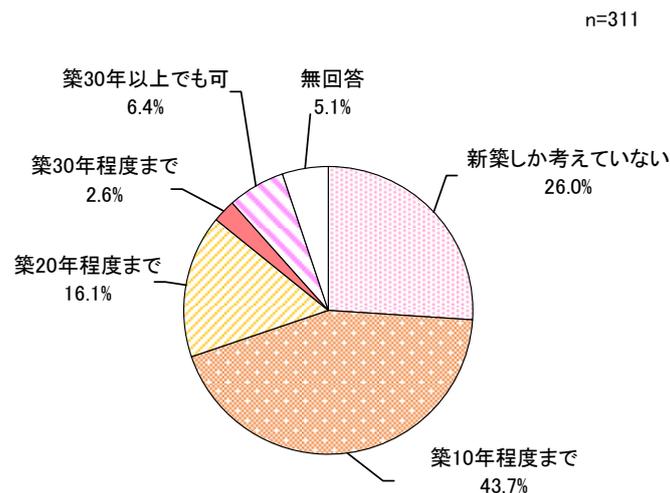
- ・回答の傾向を結婚状況別で比較すると、既婚の人は、「3K/DK/LDK」が最も多く、次いで「4K/DK/LDK」となっており、この2つで8割弱を占めています。一方、独身の人では、「2K/DK/LDK」、「3K/DK/LDK」が最も多く、次いで「1K/DK/LDK」となっています。



住み替えを検討している方（311人）にお聞きします。
 問 4-5 住宅購入を検討する際に、中古（空き家）住宅は検討対象となりますか。

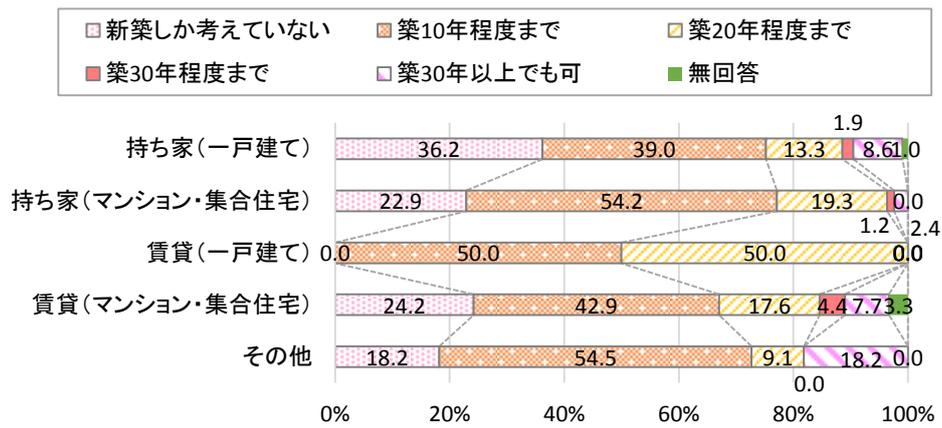
【全体の回答傾向】

- ・中古（空き屋）住宅の購入については、「築10年程度まで」が43.7%と最も多く、次いで「新築しか考えていない」(26.0%)、「築20年程度まで」(16.1%)となっています。



【住み替え後の希望形態別の回答傾向】

- ・回答の傾向を住み替え後の希望形態別で比較すると、持ち家においては、一戸建ての方が、マンション・集合住宅よりも「新築しか考えていない」の回答が高い傾向となっています。ただし、マンション・集合住宅は「築20年程度まで」が概ねの許容範囲として認識されており、それ以上の築年数になると一戸建ての方がマンション・集合住宅よりも回答が高い傾向となっています。
- ・マンション・集合住宅においては、持ち家よりも賃貸の方が、許容される築年数が長くなる傾向となっています。



未婚の方、これから就職される方にお聞きします。

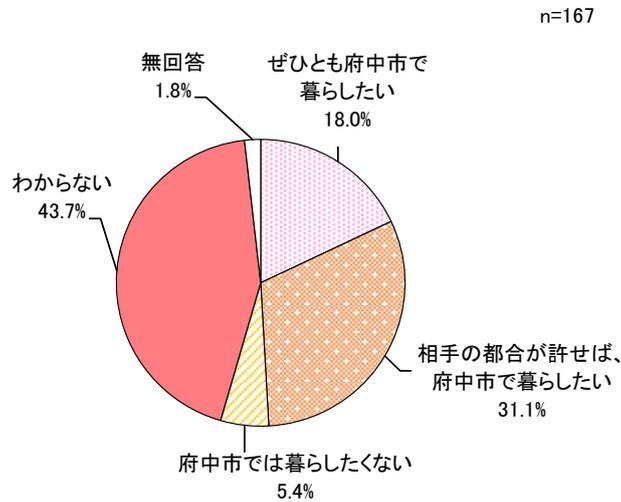
問5 ①結婚、②就職それぞれの状況に直面した際、引き続き本市で暮らしたいと思えますか。

※①、②それぞれについて回答。

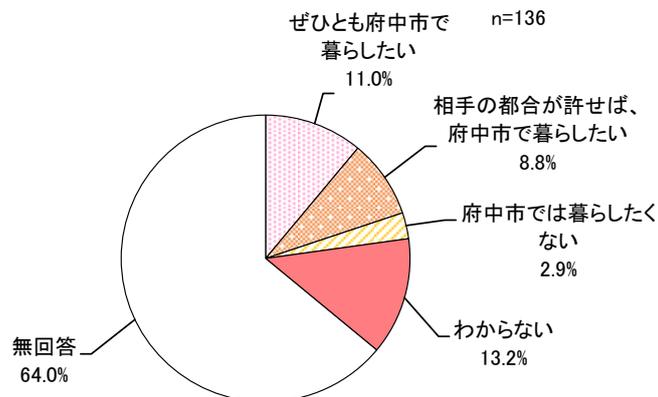
【全体の回答傾向】

- ・未婚の方の結婚後の府中市での居住については、「わからない」が43.7%と最も多く、次いで、「相手の都合が許せば、府中市で暮らしたい」(31.1%)、「ぜひとも府中市で暮らしたい」(18.0%)となっています。
- ・これから就職する方の就職後の府中市での居住については、「わからない」が13.2%と最も多く、次いで、「ぜひとも府中市で暮らしたい」(11.0%)、「相手の都合が許せば、府中市で暮らしたい」(8.8%)となっています。

<①結婚：「未婚の方」(F8で「独身」と回答した方(167人))のみ>



<②就職：「これから就職する方」(問12で「家事従事者」「学生」「無就業」と回答した方(136人))のみ>



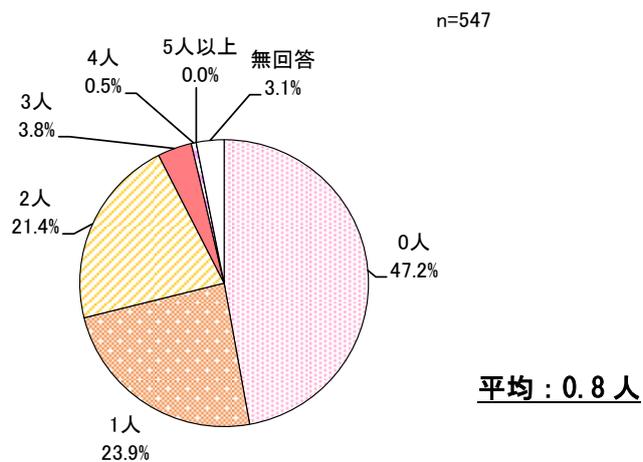
3 子育てについて

問6 現在お子さんが何人いますか。また理想の子どもの人数は何人ですか。

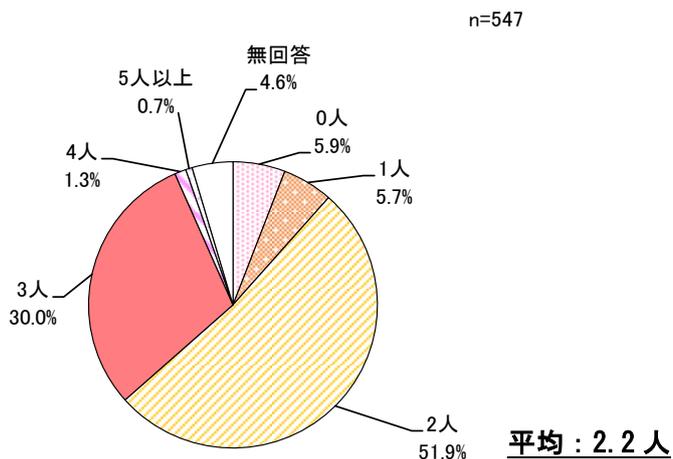
【全体の回答傾向】

- ・現在の子どもの数については、「0人」が47.2%と最も多く、次いで「1人」(23.9%)、「2人」(21.4%)、「3人」(3.8%)となっています。
- ・理想の子どもの数については、「2人」が51.9%と最も多く、次いで「3人」(30.0%)、「0人」(5.9%)、「1人」(5.7%)となっています。

<現在の子どもの数>



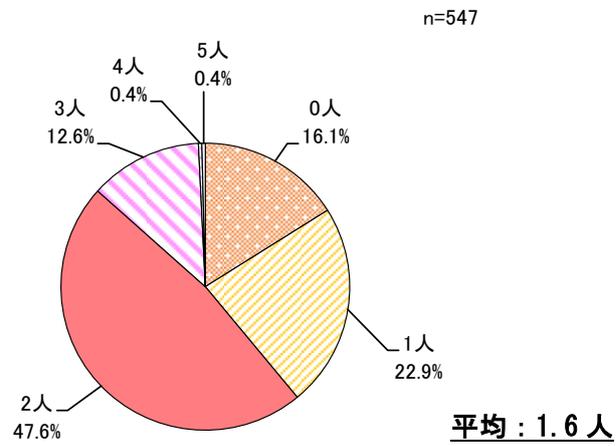
<理想の子どもの数>



問7 現実的には、お子さんを何人持てそうですか。※今いるお子さんも含む。

【全体の回答傾向】

- ・現実的な子どもの数については、「2人」が47.6%と最も多く、次いで「1人」(22.9%)、「0人」(16.1%)、「3人」(12.6%)となっています。

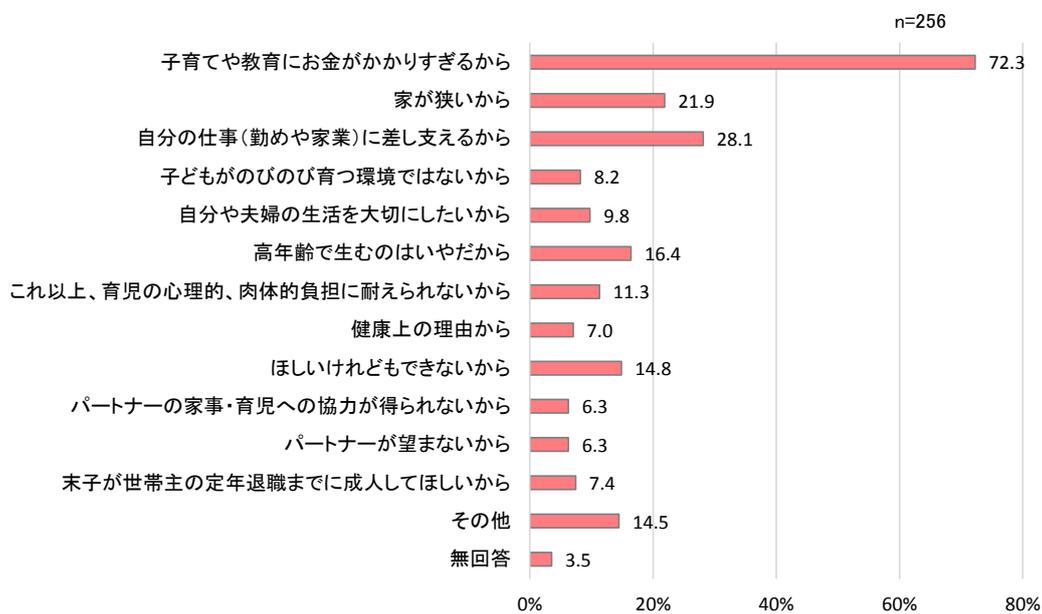


現実的に持てそうな子どもの数が、理想の子どもの数より少ない方（256人）にお聞きします。
 問8 現実的に持てそうな子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。
 （該当するものすべて選択、そのうち最も重要な理由を一つ選択）

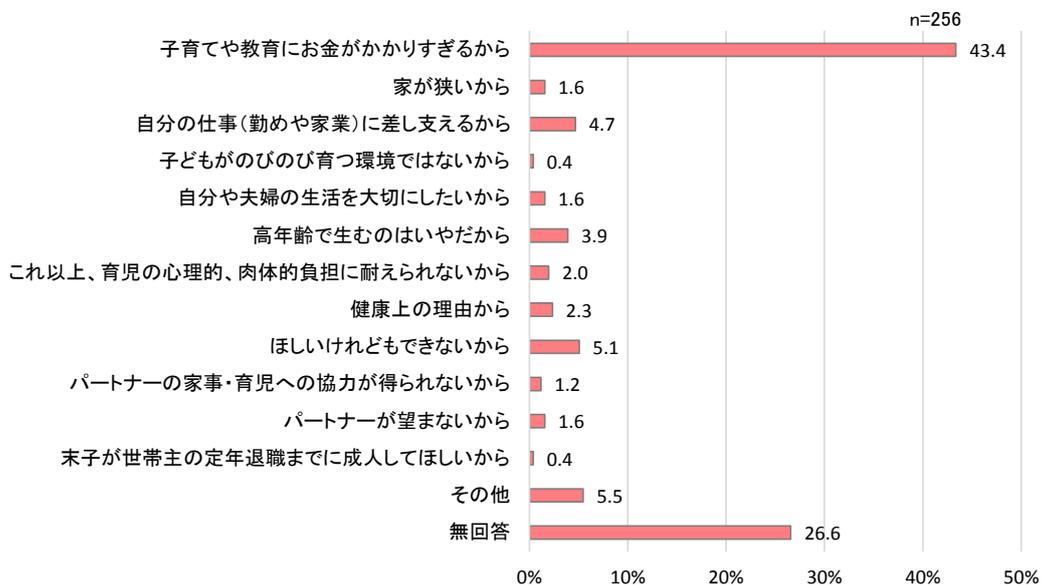
【全体の回答傾向】

- ・理想よりも現実的な子どもの数が少ない理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が72.3%と最も多く、次いで「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」（28.1%）、「家が狭いから」（21.9%）となっています。
- ・理想よりも現実的な子どもの数が少ないもっとも重要な理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が43.4%と最も多く、次いで「その他」（5.5%）、「ほしいけれどもできない」（5.1%）となっています。

<該当する理由>



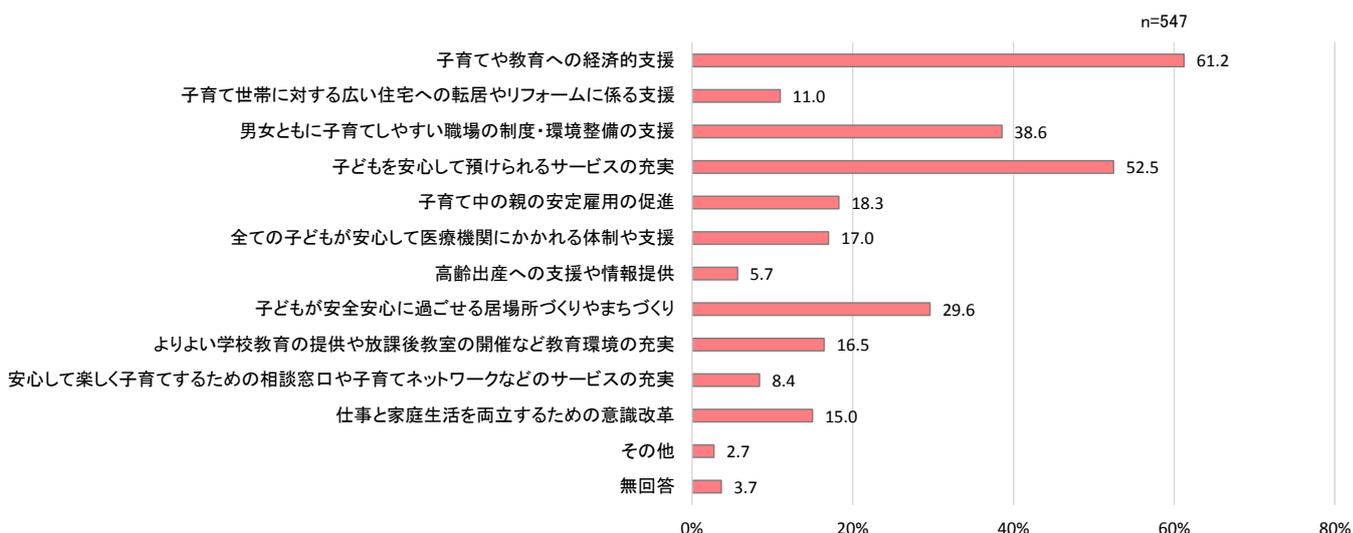
<最も重要な理由>



問 9 子どもを生み育てやすくするために、本市が優先して取り組むべきだと思うものをご回答ください。(三つまで選択)

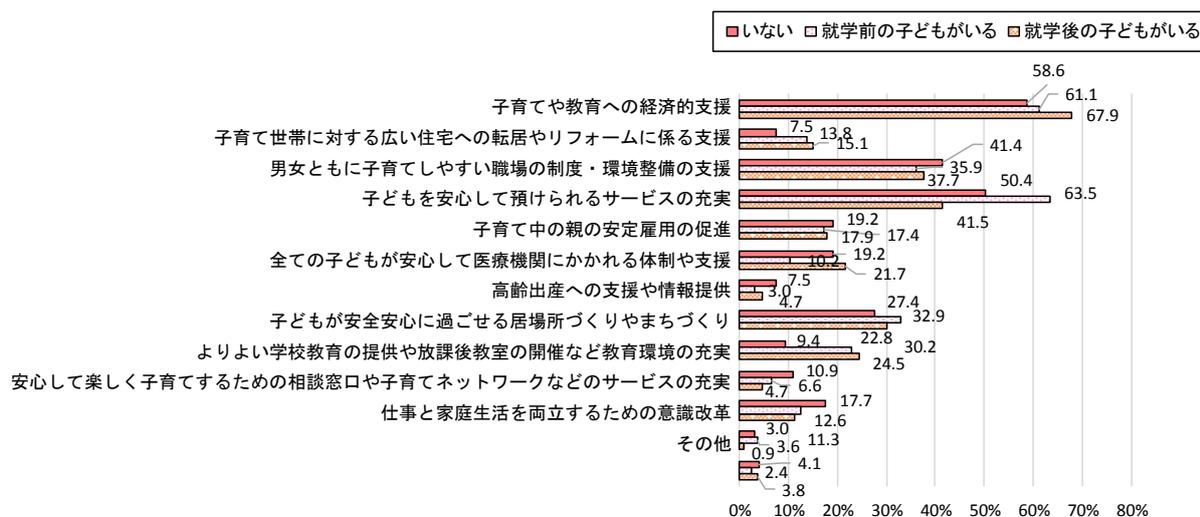
【全体の回答傾向】

- 子どもを生み育てやすくするために市が優先して取り組むべきことについては、「子育てや教育への経済的支援」が61.2%と最も多く、次いで「子どもを安心して預けられるサービスの充実」(52.5%)、「男女ともに子育てしやすい職場の制度・環境整備の支援」(38.6%)、「子どもが安全安心に過ごせる居場所づくりやまちづくり」(29.6%)となっています。



【子育て状況別の回答傾向】

- 回答の傾向を子育て状況別で比較すると、全体の傾向は大きく変わりませんが、子どもがいない人と就学後の子どもがいる人は、「子育てや教育への経済的支援」が最も多くなっている一方、就学前の子どもがいる人は、「子どもを安心して預けられるサービスの充実」が最も多くなっています。



本市で子育てしている方および本市で子育て経験のある方にお聞きします。

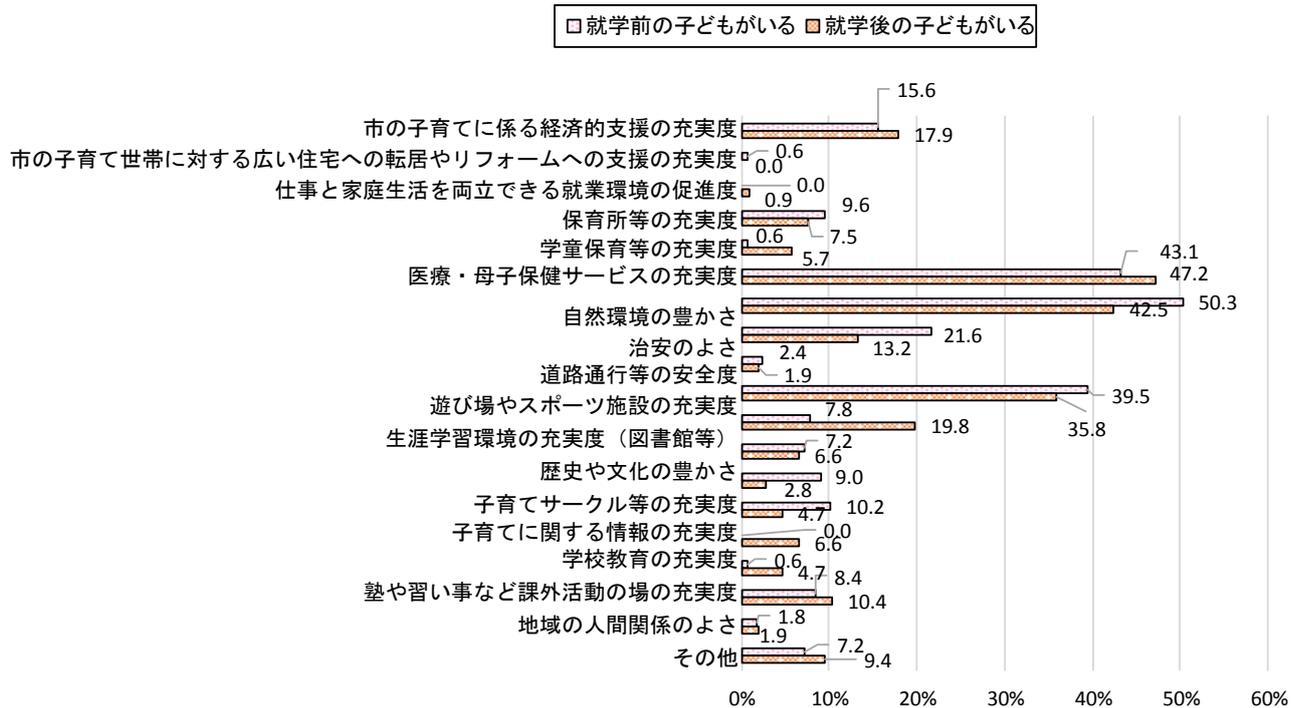
問 10 本市で子育てをして良かった点、および今後改善すべき点は何ですか。

(それぞれ三つまで選択)

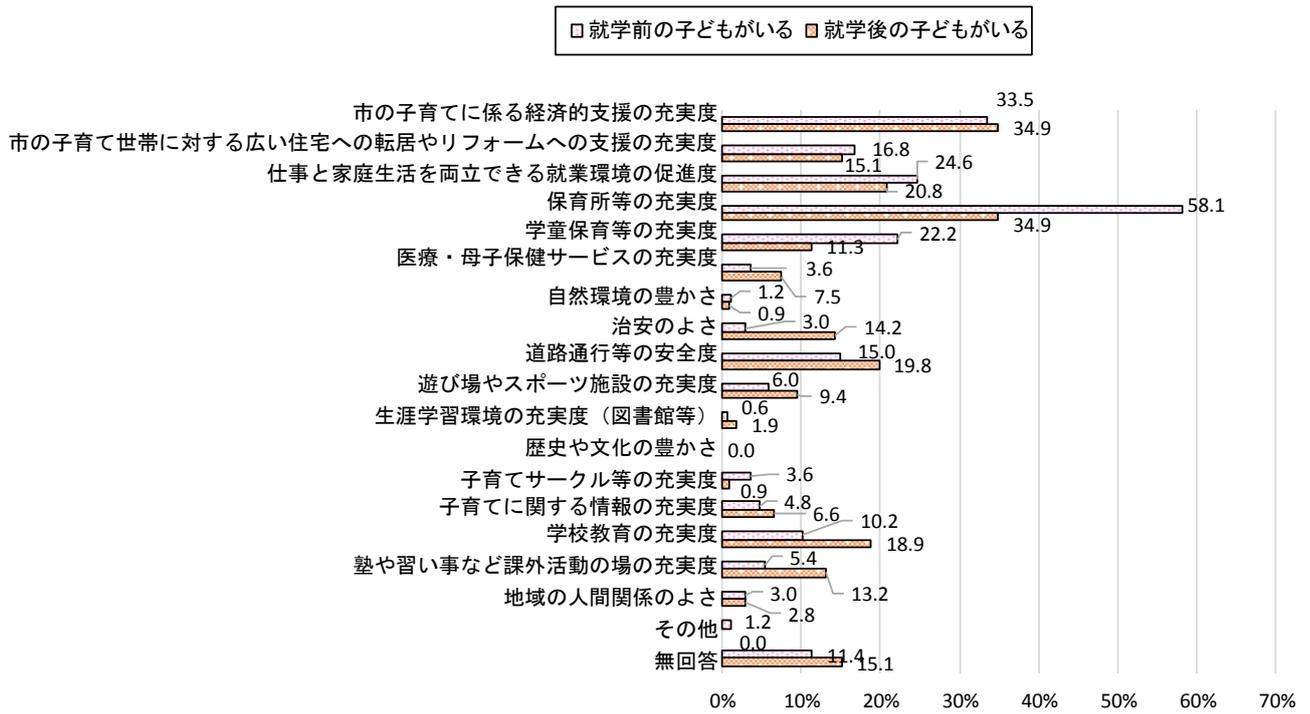
【子育て状況別の回答傾向】

- ・府中市での子育てでよかった点については、就学前の子どもがいる人については、「自然環境の豊かさ」が 50.3%と最も多く、次いで「医療・母子保健サービスの充実度」(43.1%)、「遊び場やスポーツ施設の充実度」(39.5%)となっています。就学後の子どもがいる人については、「医療・母子保健サービスの充実度」が 47.2%と最も多く、次いで「自然環境の豊かさ」(42.5%)、「遊び場やスポーツ施設の充実度」(35.8%)となっています。
- ・府中市での子育てで改善すべき点については、就学前の子どもがいる人については、「保育所等の充実度」が 58.1%で最も多く、次いで「市の子育てに係る経済的支援の充実度」(33.5%)、「仕事と家庭生活を両立できる就業環境の促進度」(24.6%)となっています。就学後の子どもがいる人については、「市の子育てに係る経済的支援の充実度」、「保健所等の充実度」が 34.9%で最も多く、次いで「仕事と家庭生活を両立できる就業環境の促進度」(20.8%)、「道路通行等の安全度」(19.8%)となっています。

<良かった点>



<改善点>

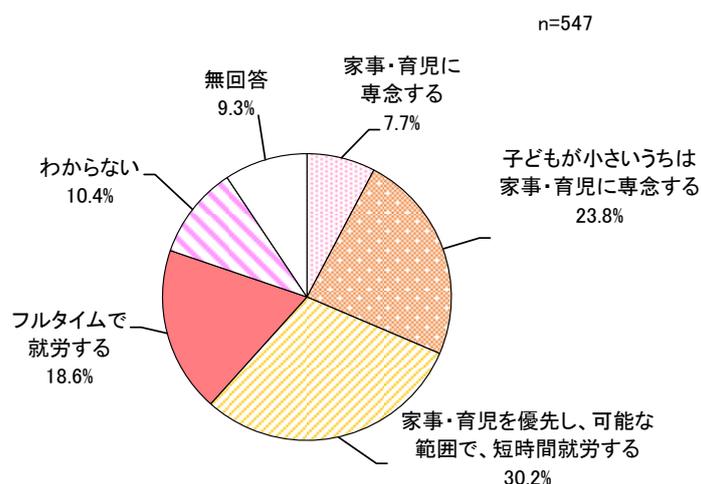


問 11 子どもを持ったとき、また子育てをしながらの理想の働き方をご回答ください。

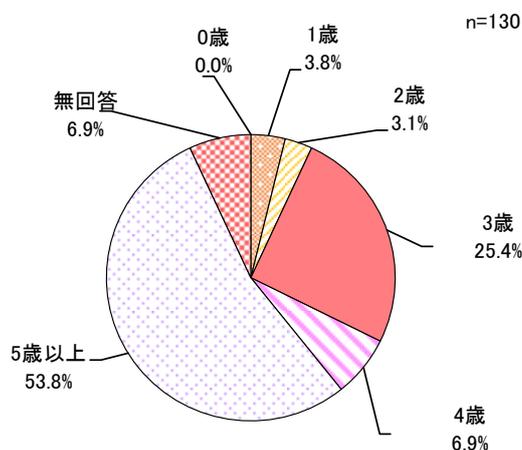
※「2 子どもが小さいうちは家事・育児に専念する」「3 家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間労働する」を選んだ方は具体的な数字を記入。

【全体の回答傾向】

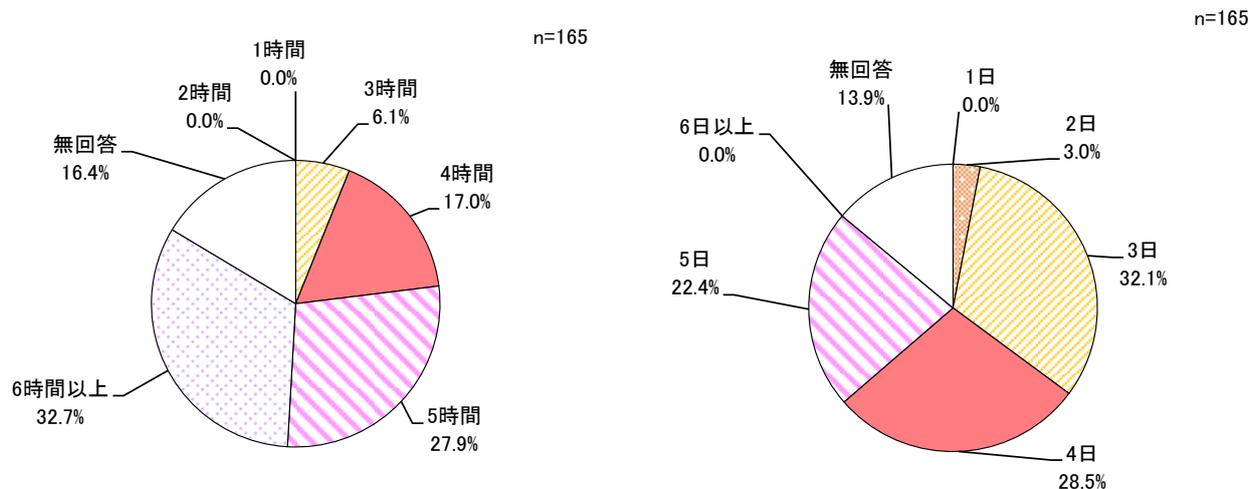
- ・子どもを持ったとき、また子育てをしながらの理想の働き方については、「家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間就労する」が30.2%と最も多く、次いで「子どもが小さいうちは家事・育児に専念する」(23.8%)、「フルタイムで就労する」(18.6%)、「家事・育児に専念する」(7.7%)となっています。
- ・「子どもが小さいうちは家事・育児に専念する」を選んだ方の就労可能となる末子の年齢については、「5歳以上」が53.8%と最も多く、次いで「3歳」(25.4%)、「4歳」(6.9%)となっています。
- ・「家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間労働する」を選んだ方の理想の就労時間については、「6時間以上」が32.7%と最も多く、次いで「5時間」(27.9%)、「4時間」(17.0%)となっています。
- ・「家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間労働する」を選んだ方の理想の就労日数については、「3日」が32.1%と最も多く、次いで「4日」(28.5%)、「5日」(22.4%)となっています。



<「2 子どもが小さいうちは家事・育児に専念する」を選んだ方(130人)の就労可能となる末子の年齢>

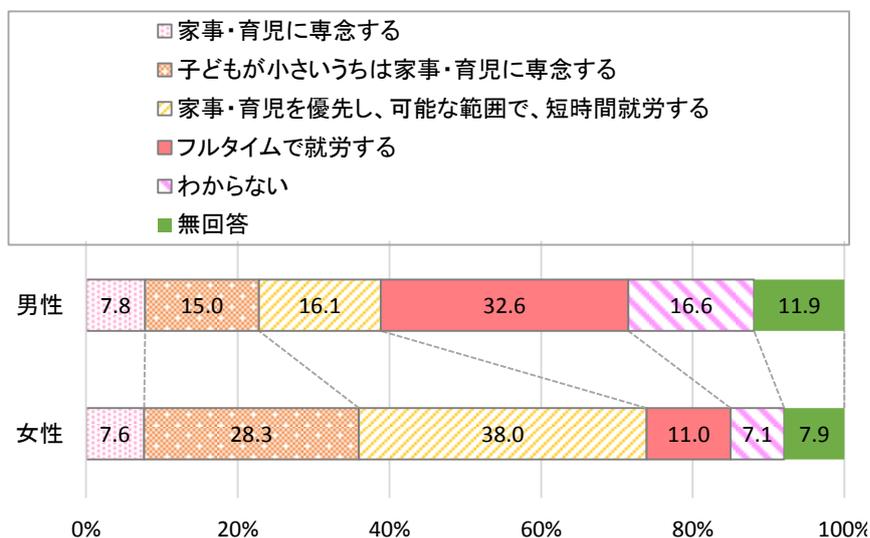


<「3 家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間労働する」を選んだ方（165人）の理想の就労時間および就労日数>



【性別の回答傾向】

・回答の傾向を性別で比較すると、女性は「子どもが小さいうちは家事・育児に専念する」、「家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間労働する」などの子どもを優先した働き方を選ぶ回答が多くなっています。一方、男性は、「子どもが小さいうちは家事・育児に専念する」、「家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間労働する」などの子どもを優先した働き方と「フルタイムで就労する」の回答が同程度となっています。



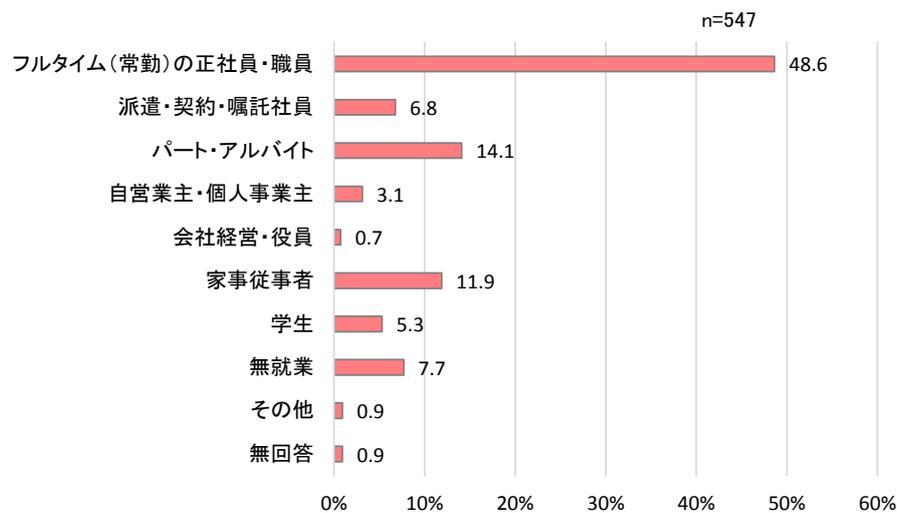
4 就労について

問 12 あなたの現在の雇用形態は何ですか。また理想の雇用形態は何ですか。

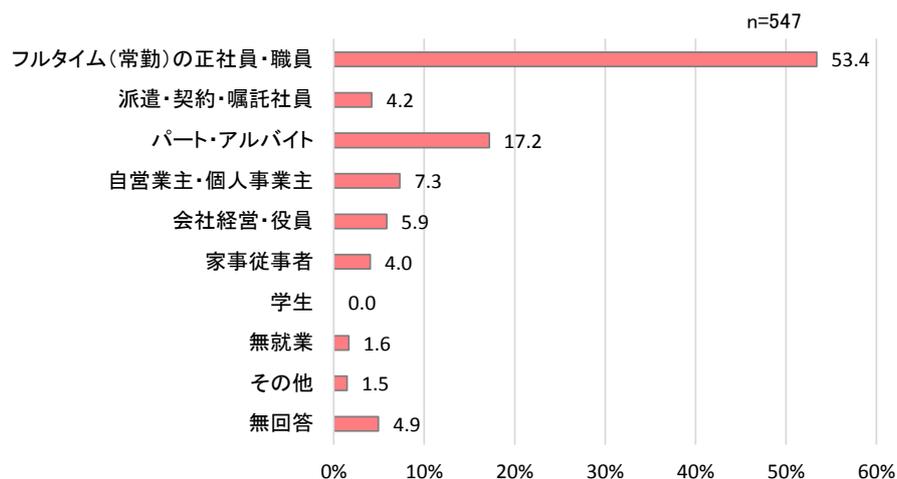
【全体の回答傾向】

- ・現在の雇用形態については、「フルタイム（常勤）の正社員・職員」が48.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」（14.1%）、「家事従事者」（11.9%）、「無就業」（7.7%）となっています。
- ・理想の雇用形態については、「フルタイム（常勤）の正社員・職員」が53.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」（17.2%）、「自営業主・個人事業主」（7.3%）、「会社経営・役員」（5.9%）となっています。

<現在の雇用形態>



<理想の雇用形態>

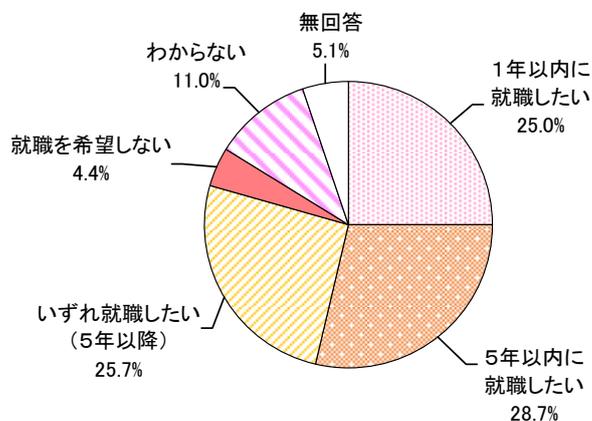


現在「家事従事者」「学生」「無就業」の方（136人）にお聞きします。
 問 12-1 就労を希望しますか。

【全体の回答傾向】

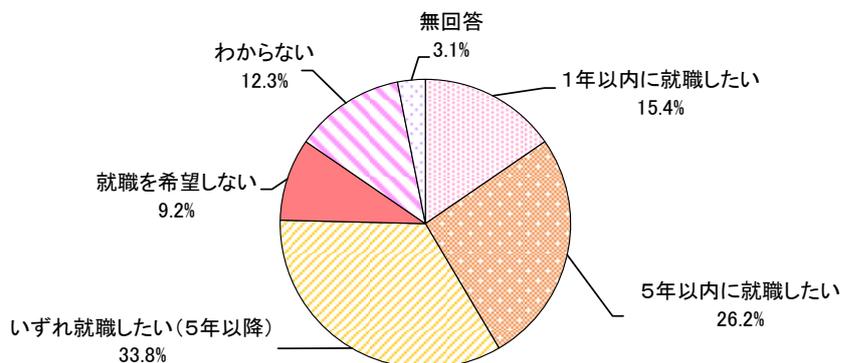
- ・就労の希望については、「5年以内に就職したい」が28.7%と最も多く、次いで「いずれ就職したい（5年以降）」（25.7%）、「1年以内に就職したい」（25.0%）となっています。
- ・家事従事者については、「いずれ就職したい（5年以降）」が33.8%で最も多く、次いで「5年以内に就職したい」（26.2%）、「1年以内に就職したい」（15.4%）となっています。
- ・学生については、「1年以内に就職したい」が55.2%で最も多く、次いで「5年以内に就職したい」（34.5%）となっています。
- ・無就業については、「いずれ就職したい（5年以降）」が31.0%で最も多く、次いで「5年以内に就職したい」（28.6%）、「1年以内に就職したい」（19.0%）となっています。

n=136

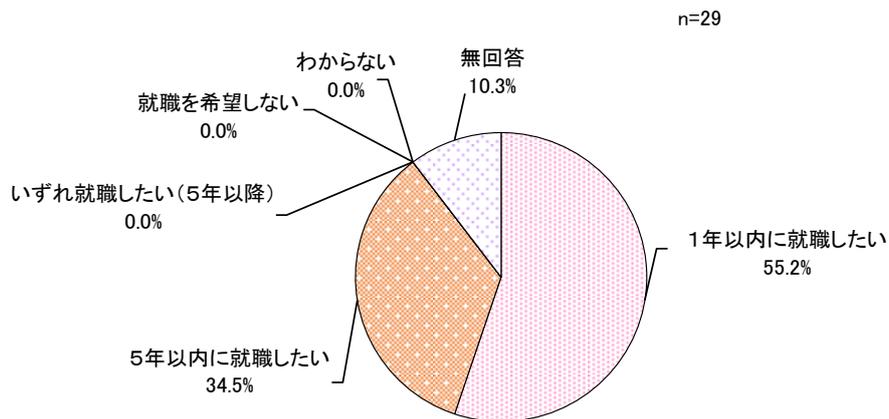


<家事従事者（65人）のみ>

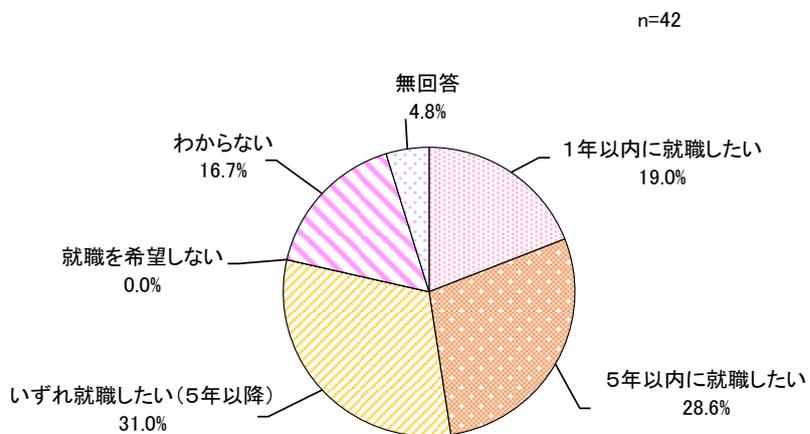
n=65



<学生 (29 人) のみ>



<無就業 (42 人) のみ>

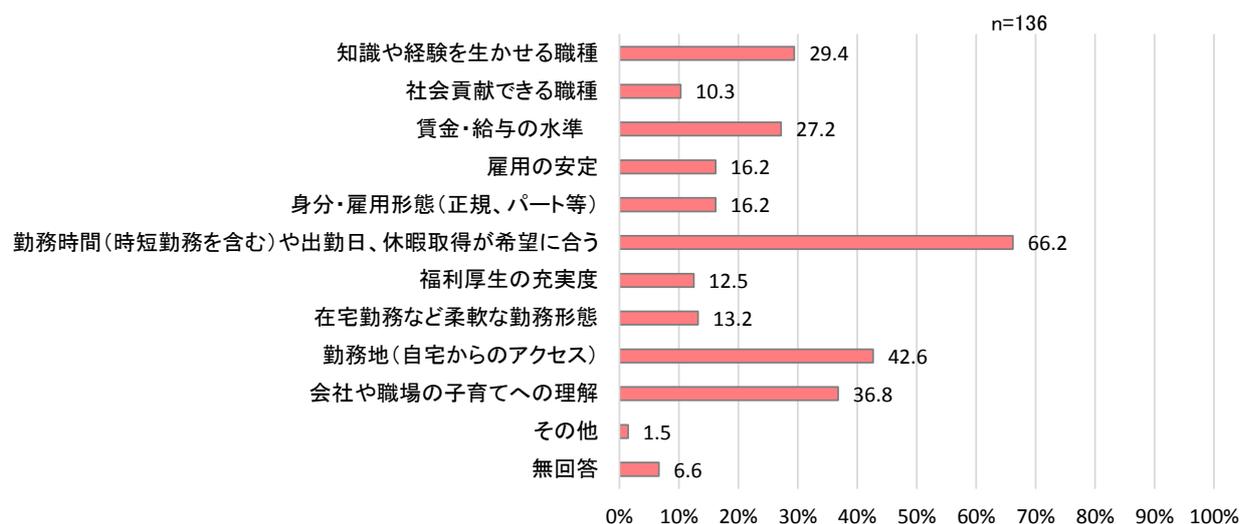


現在「家事従事者」「学生」「無就業」の方（136人）にお聞きします。

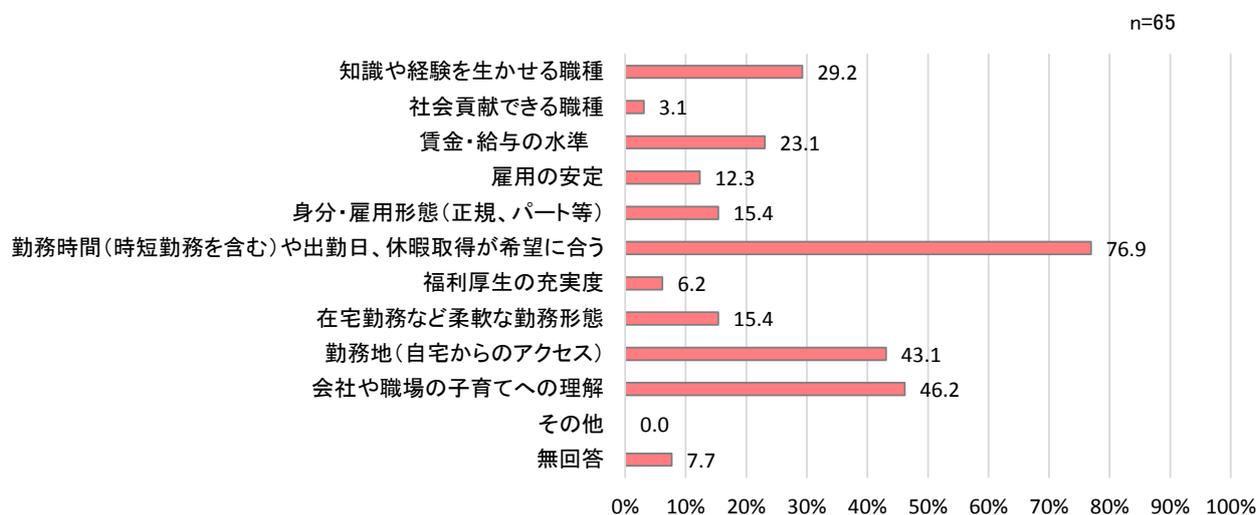
問 12-2 就労先を選ぶ際に重視する条件は何ですか。（三つまで選択）

【全体の回答傾向】

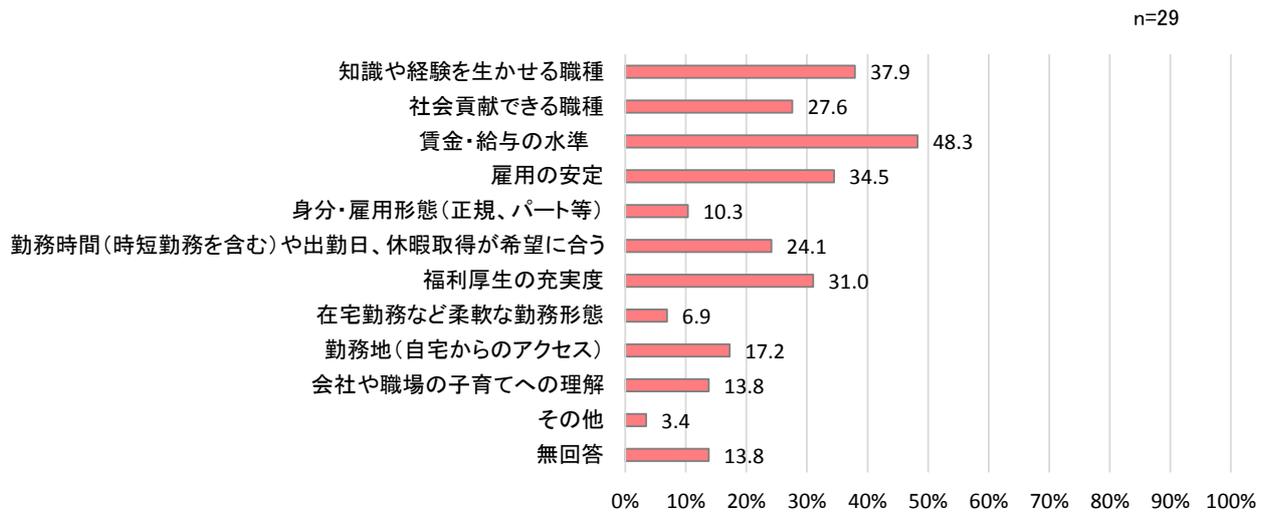
- ・就労先を選ぶ際に重視する条件については、「勤務時間（時短勤務を含む）や出勤日、休暇取得が希望に合う」が66.2%と最も多く、次いで「勤務地（自宅からのアクセス）」（42.6%）、「会社や職場の子育てへの理解」（36.8%）、「知識や経験を生かせる職種」（29.4%）となっています。
- ・家事従事者については、「勤務時間（時短勤務を含む）や出勤日、休暇取得が希望に合う」が76.9%で最も多く、次いで「会社や職場の子育てへの理解」（46.2%）、「勤務地（自宅からのアクセス）」（43.1%）となっています。
- ・学生については、「賃金・給与の水準」が48.3%で最も多く、次いで「知識や経験を生かせる職種」（37.9%）、「雇用の安定」（34.5%）となっています。
- ・無就業については、「勤務時間（時短勤務を含む）や出勤日、休暇取得が希望に合う」が78.6%で最も多く、次いで「勤務地（自宅からのアクセス）」（59.5%）、「会社や職場の子育てへの理解」（38.1%）となっています。



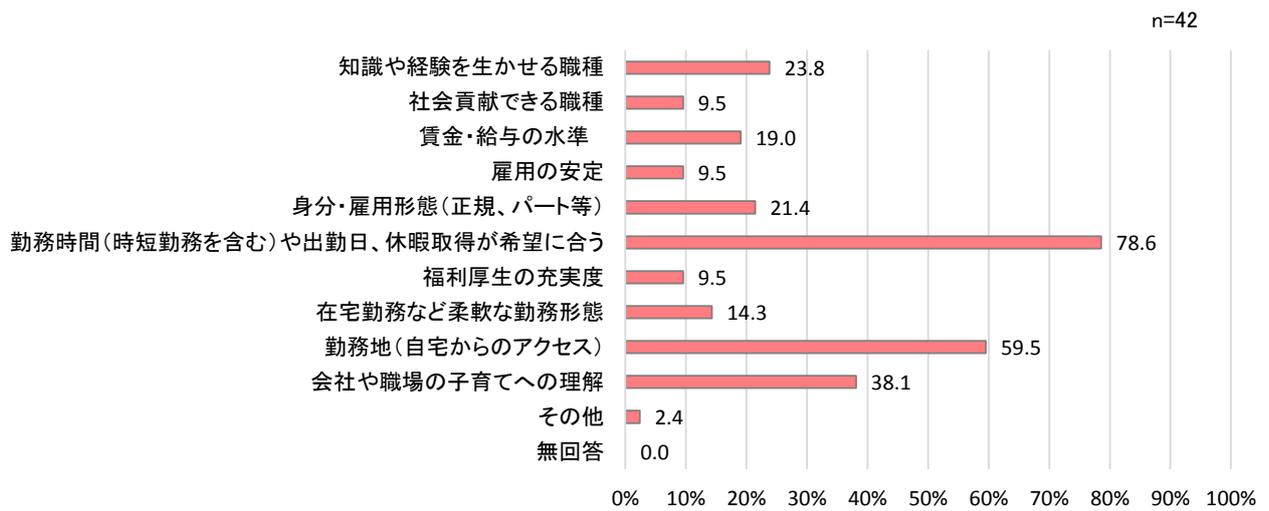
<家事従事者（65人）のみ>



<学生（29人）のみ>



<無就業（42人）のみ>

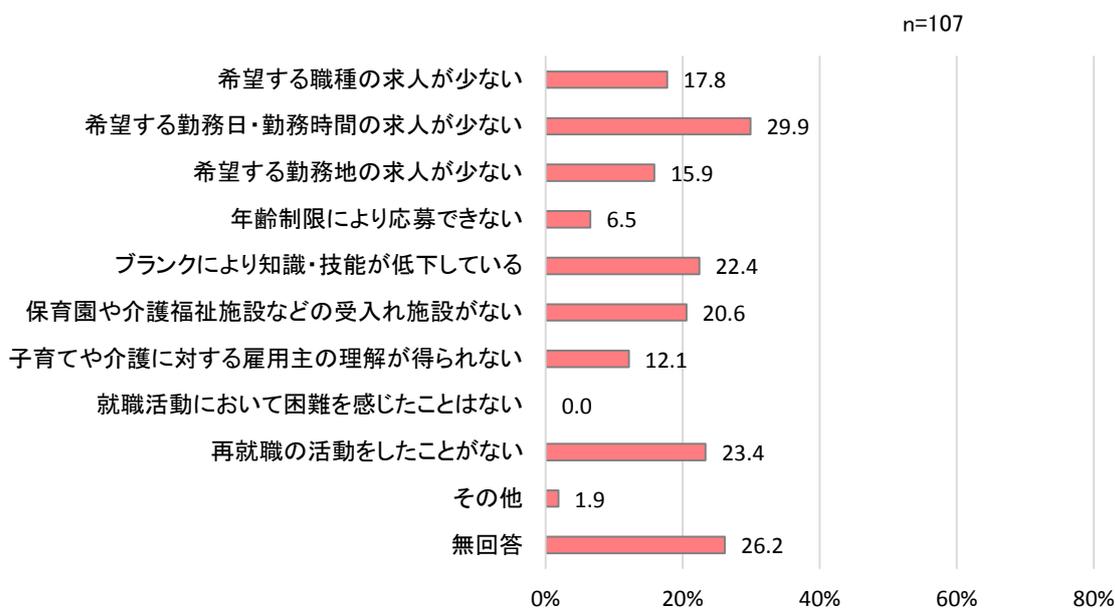


結婚、出産、子育て、介護のために離職した方にお聞きします。

問 13 再就職にあたり、就職活動において困難を感じたことはありますか。(三つまで選択)

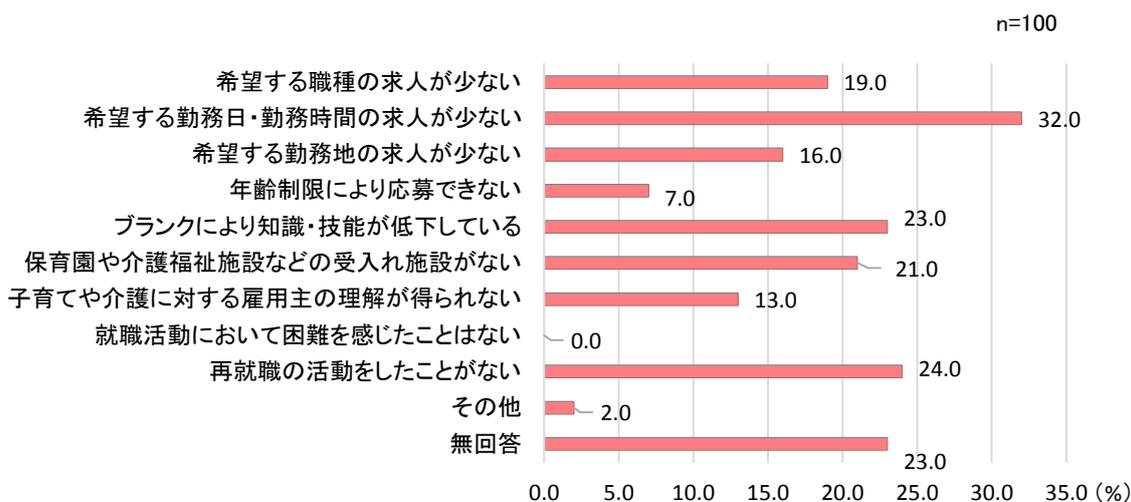
【家事従事者、無就業者（107人）の回答傾向】

- ・再就職の際の就職活動での困難については、「希望する勤務日・勤務時間の求人が少ない」が 29.9%と最も多く、次いで「再就職の活動をしたことがない」(23.4%)、「ブランクにより知識・技能が低下している」(22.4%)、「保育園や介護福祉施設などの受入れ施設がない」(20.6%)となっています。



【女性の回答傾向】

- ・回答の傾向を女性で見ると、「希望する勤務日・勤務時間の求人が少ない」が 32.0%と最も多く、次いで「再就職の活動をしたことがない」(24.0%)、「ブランクにより知識・技能が低下している」(23.0%)、「保育園や介護福祉施設などの受入れ施設がない」(21.0%)となっています。

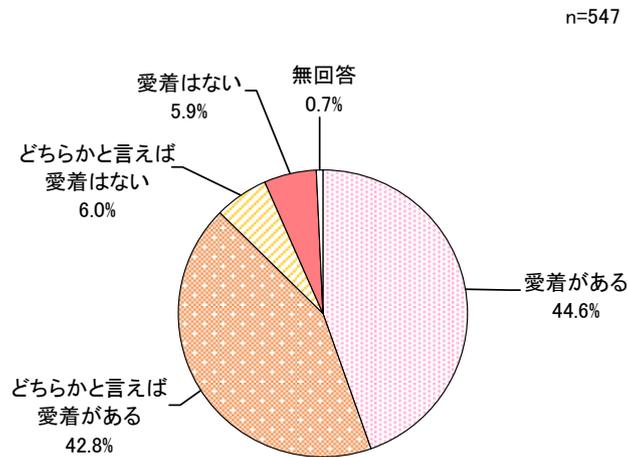


5 地域とのつながりについて

問 14 府中市に愛着はありますか。

【全体の回答傾向】

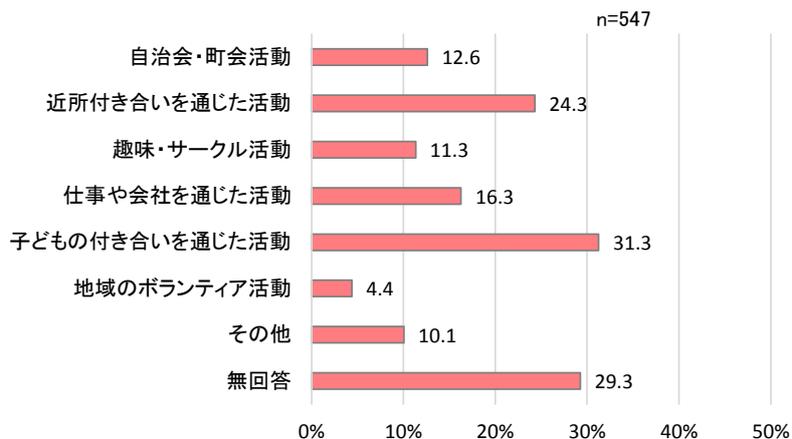
- ・府中市への愛着については、「愛着がある」が 44.6%と最も多く、次いで「どちらかと言えば愛着がある」(42.8%)、「どちらかと言えば愛着はない」(6.0%)、「愛着はない」(5.9%) となっています。



問 15 地域とどのようなつながりをお持ちですか。積極的に行っている地域の活動をご回答ください。
(三つまで選択)

【全体の回答傾向】

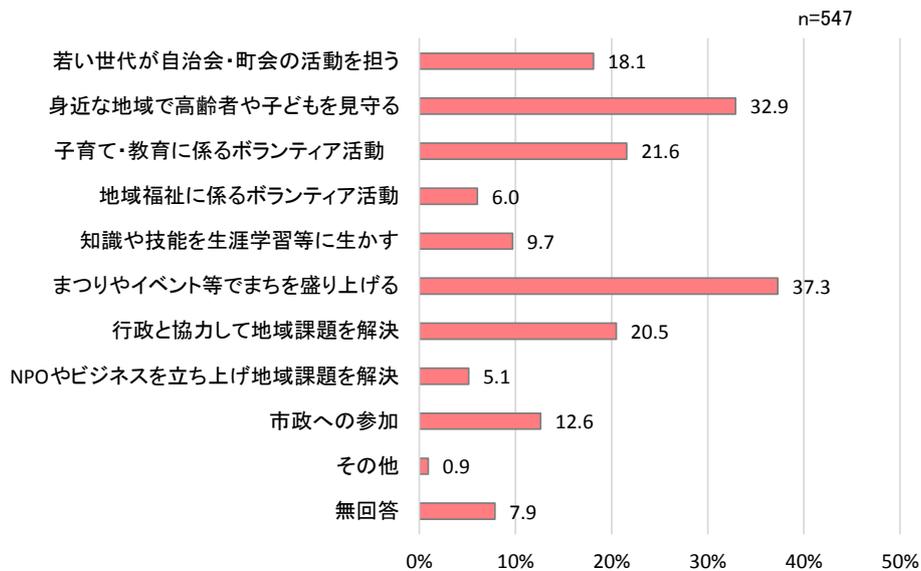
- ・積極的に行っている地域活動については、「子どもの付き合いを通じた活動」が 31.3%と最も多く、次いで「近所付き合いを通じた活動」(24.3%)、「仕事や会社を通じた活動」(16.3%) となっています。



問 16 若い世代のまちづくりへのかかわり方に関して重要と思うものをご回答ください。
(二つまで選択)

【全体の回答傾向】

- ・若い世代のまちづくりへのかかわり方については、「まつりやイベント等でまちを盛り上げる」が37.3%と最も多く、次いで「身近な地域で高齢者や子どもを見守る」(32.9%)、「子育て・教育に係るボランティア活動」(21.6%)、「行政と協力して地域課題を解決」(20.5%)となっています。



7 自由記述

最後に、定住や子育て支援等について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

分野	意見数
住み替え	22
子育て	132
就労	4
地域とのつながり	11
その他	64
合計	233